

序章

1) 本調査の背景

国内で情報化が官民双方で積極的に推進されている中、旅客運送業界においても顧客に対する情報提供手段として、効果的な情報システムの整備が注目されている。

一方、顧客においてもインターネット等の普及に伴い、有用な交通情報が、容易にかつタイムリーに得られるような環境が整備されつつある。このような背景により、業界が今まで行ってきた交通情報の提供方法を見直す時期が到来していると考えられる。

2) 本調査の目的

本調査は、旅客運送業界が交通情報を効率的に提供することにより、顧客が付加価値の高いサービスを受けられるようにするため、交通事業者や公共メディア等における交通情報の保有・管理・提供の現状把握、今後の交通情報提供の方向性を見定め、事業者による共同情報提供システム（以下、共同システム）の有用性の検討等を目的としている。

また、併せて現在進行中の電子政府事業に対する交通事業者からの意見、要望を聴取し、本省の施策を推し進める上での参考とする。

第1章 本調査の概要

1) 調査の方法

A. プリサーベイ（東京2社）

本調査は、アンケート及びヒアリングによる調査とするが、それに先立ち、質問項目を各業界の現状に合致させ課題解決に結びつく有効な調査を期するため、東京にあるバス・鉄道事業者各1社に対し訪問調査を行った。

B. アンケート調査（全国範囲）

全国を対象に、バス、鉄道、船舶、航空の各事業者全702社を対象に、アンケート票郵送調査を行った。本アンケートの有効回答率は55.0%であった。交通事業者の業態別有効回収率については表1-1の通りであった。

C. ヒアリング調査（大阪11団体12部門/名古屋4団体6部門）

平成13年度の実証実験事業が予定されている大阪市及び名古屋市に本社を置く事業者に対し、アンケートでは必ずしも網羅し得なかった質問を補足するため、アンケートを配布した事業者の中で、事業規模の大きい各事業者15団体（18部門）にヒアリング調査を行った。

表1-1 アンケート調査回収状況

| | 配布数 | 回収数 | | 有効回収率 |
|----|-----|-----|-----|-------|
| | | 無効票 | 有効票 | |
| バス | 424 | 5 | 211 | 49.8% |
| 鉄道 | 178 | 2 | 127 | 71.3% |
| 船舶 | 95 | 0 | 45 | 47.4% |
| 航空 | 5 | 0 | 3 | 60.0% |
| 全体 | 702 | 7 | 386 | 55.0% |

2) 回答状況

各事業者における、運送旅客人数による事業規模別に見た回収分布は、以下の通りであった。

A. バス事業者

有効票 211 社の内、運送旅客人数が 100 万人以上 1,000 万人未満の事業者からの回答が 42.0%と最も多かった。

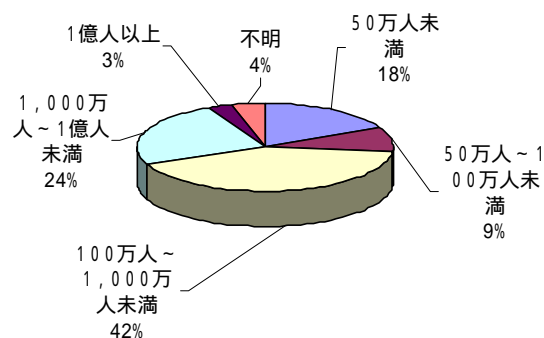


図 1 - 1 バス事業者

B. 鉄道事業者

有効票 127 社の内、運送旅客人数が 100 万人以上 1,000 万人未満の事業者が 30.0%、1,000 万人以上 1 億人未満が 23.0%となり、100 万人以上 1 億人未満の枠内の事業者が半数を超えた。

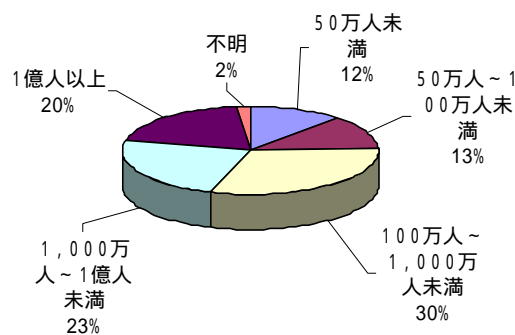


図 1 - 2 鉄道事業者

C . 船舶事業者

有効票 45 社の内、運送旅客人数が 50 万人未満の小規模な事業者の割合が 57.0%と過半数を占めた。

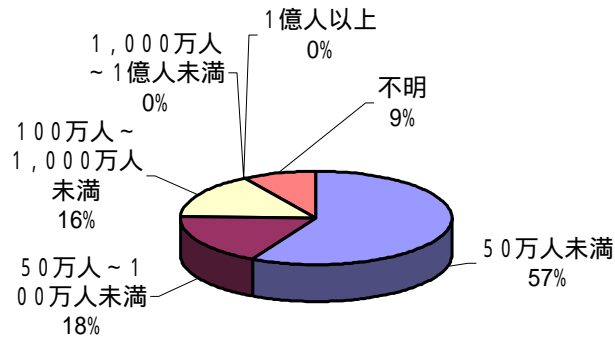


図 1 - 3 船舶事業者

また、回答事業者の営業形態の分布は下図の通りである。民営の事業者の回答が全体で 8 割強、第三セクターを含めた公営の事業者は 1 割強となった

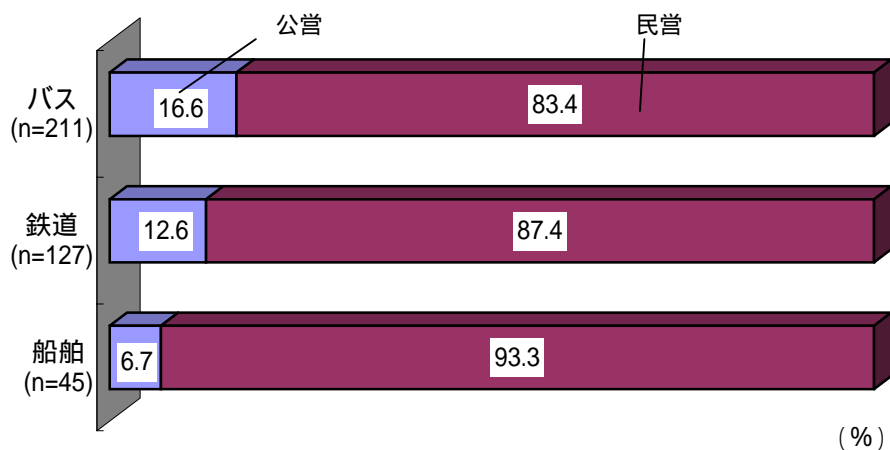


図 1 - 4 回答者の営業形態

D . 航空事業者

航空事業者については、5 社に対して調査を依頼したが、回答は 3 社のみであった。

第2章 交通情報の保有・管理・提供の現状

1) 提供情報の種類と提供手段

A. 提供情報の種類

(1) バス

バス事業者が現在提供している交通機関情報の内、最も多いのは「時刻表・ダイヤ」(99.5%)であった。次いで、「路線図」(96.7%)、「運賃」(94.3%)、「目的停留所までの所要時間」(88.2%)、「乗り継ぎ・乗り換え情報」(84.4%)、「当日の運行状況」(81.0%)、「目的地までの最短ルート」(68.7%)、「路線周辺情報」(66.8%)等という順になっている。また、「その他」を除いて最も回答が少なかったのは「次バス接近情報」(19.0%)であった。

バスを利用して目的地まで移動するという観点での情報は網羅されているが、次バスが何処まで来ているかといったリアルタイム情報等付加的な情報提供には至っていない。

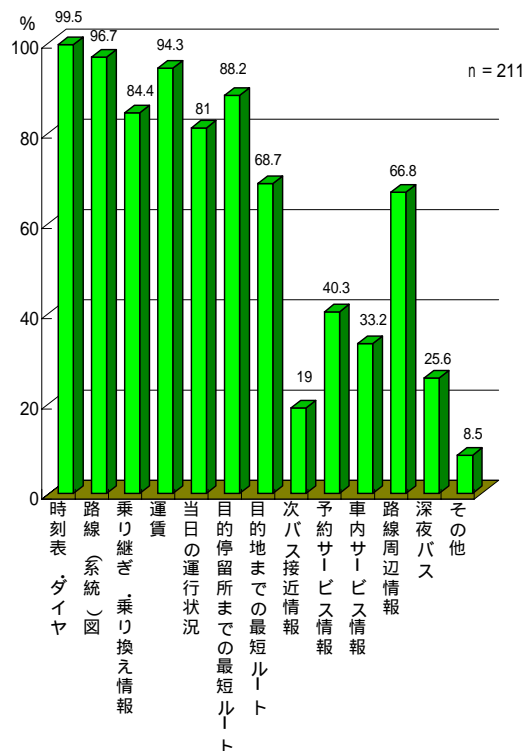


図2 - 1 バス事業者の提供する交通情報の種類

(2)鉄道

鉄道事業者では、全ての回答者が「時刻表・ダイヤ」情報を提供している。2位以下については、「運賃」(96.1%)、「路線図」(95.3%)、「当日の運行状況」(94.5%)、「乗り継ぎ・乗り換え情報」(92.9%)、「目的地までの所要時間」(90.6%)、「路線沿線情報」(87.4%)という順になっている。また、「車内サービス情報」及び「予約サービス情報」(共に27.6%)が少ない結果となっている。

鉄道はバス、航空、船舶と比較し、より定刻運行が可能であり、秒単位での運行がなされている。それだけに情報も詳細かつ大量となるが、情報開示も進んでいる。

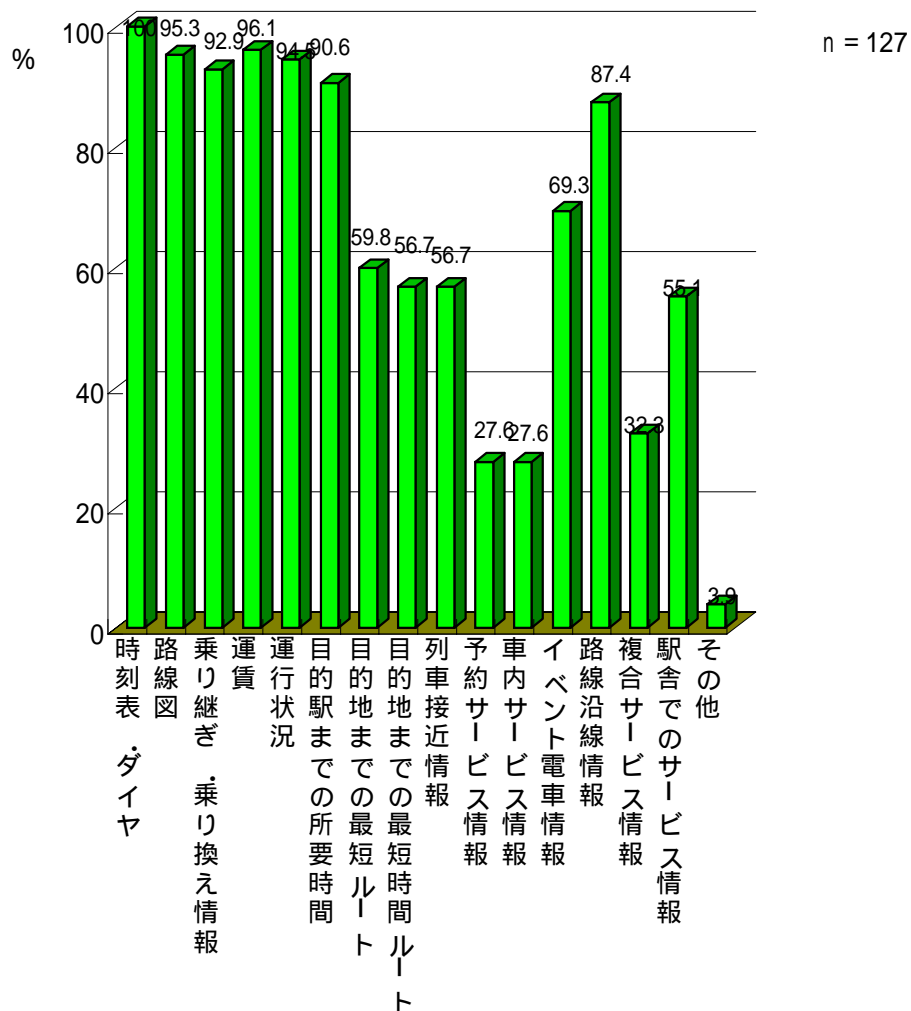


図 2 - 2 鉄道事業者の提供する交通情報の種類

(3)船舶

船舶は各種情報の提供の割合にあまり差がなく、「その他」を除いた全ての情報が6割を超えている。中でも「運航時刻表・ダイヤ」、「運賃」、「乗り場(港)案内」については全ての回答者が情報を提供している。次いで「航路(図)」、「当日の欠航情報」(共に95.6%)、「当日の発着情報」(93.3%)、「予約サービス情報」(91.1%)となっており、提供の割合が9割を超えている。以下、「寄港地間所要時間」、「寄港地・到着地周辺情報」(共に86.7%)、「乗り継ぎ・乗り換え情報」(80.0%)、「船内サービス情報」(68.9%)等という順になっている。

鉄道、バスに比較すると一日の運航便数や寄港地も少なく、開示する情報の量は多くない。今回のアンケートで、1路線あたりの駅・バス停・寄港地の数を割り出すと、鉄道14.4カ所、バス15.5カ所、船舶3.2カ所であった。

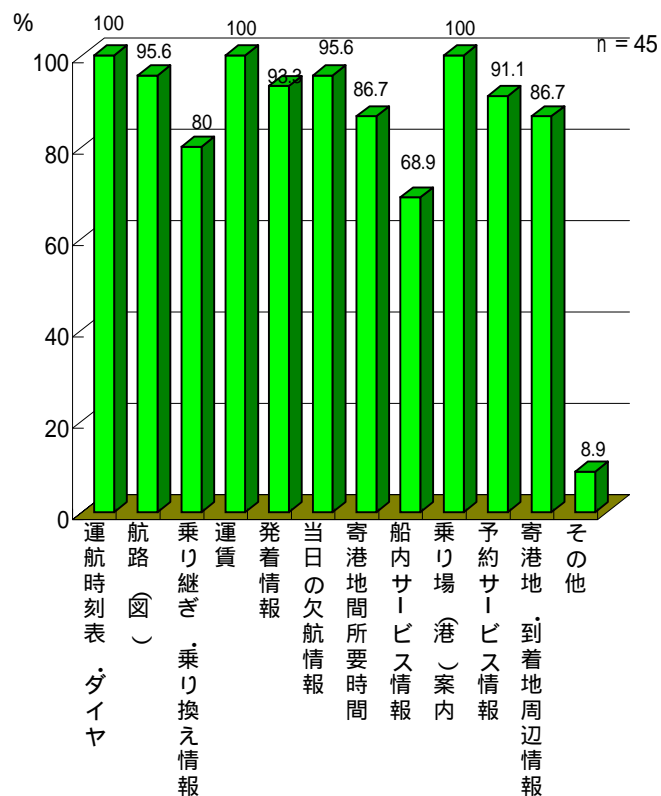


図2-3 船舶事業者の提供する交通情報の種類

B．事業規模別提供情報の種類

各事業者において規模別に提供情報の種類を見たもので、バス・鉄道ともに「時刻表」、「路線」、「乗り継ぎ・乗り換え情報」、「運賃」等の項目に関しては、事業規模による情報提供量の差異は見られないが、所要時間、最短ルート、列車接近情報、路線沿線情報等の付加的情報については、事業規模が大きくなるほど情報の開示が進んでいる。

(1)バス

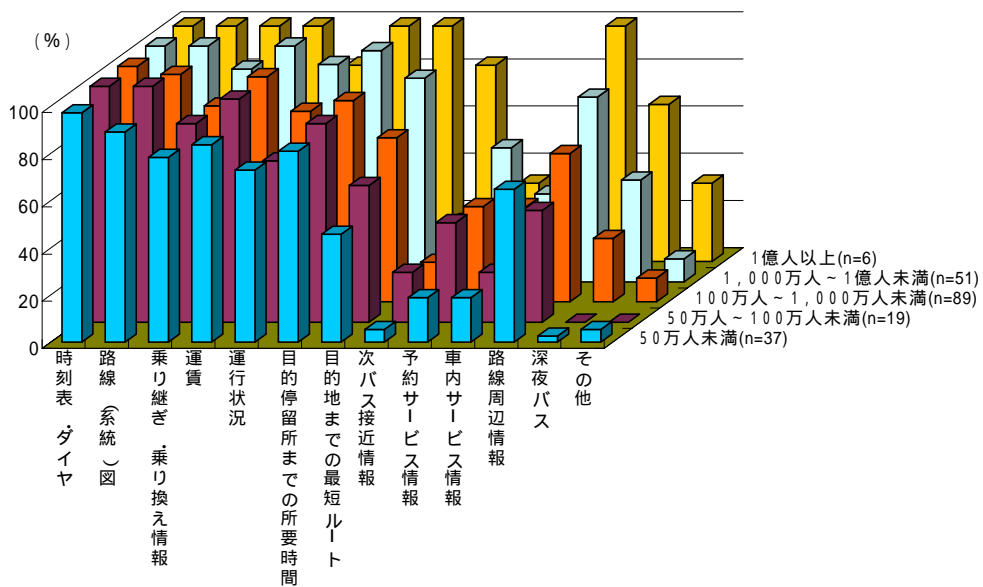


図2 - 4 事業規模別に見た提供している情報の種類 (バス)

(2)鉄道

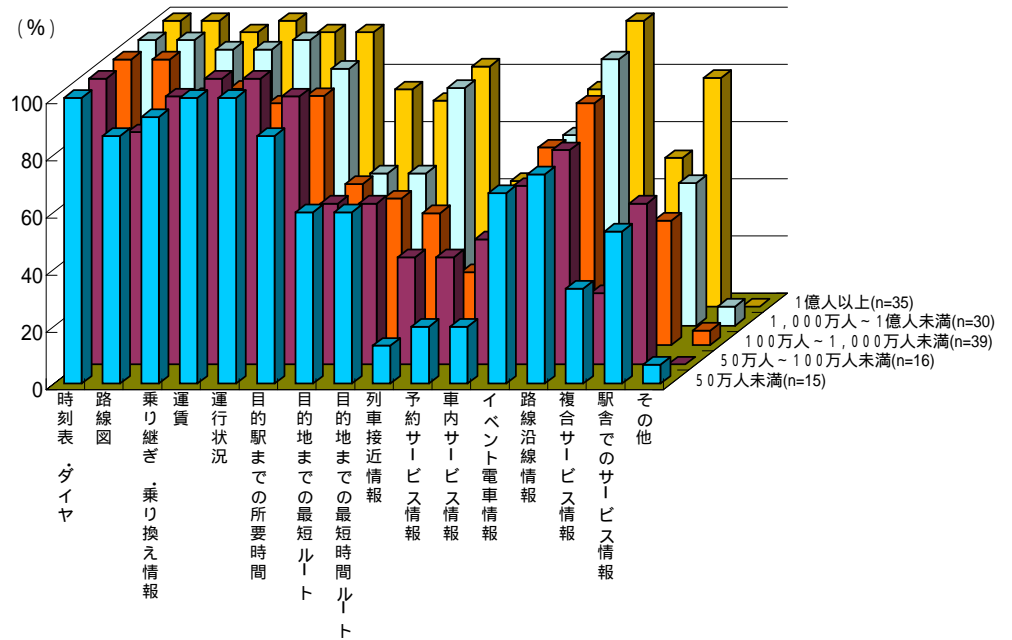


図2 - 5 事業規模別に見た提供している情報の種類（鉄道）

(3)船舶

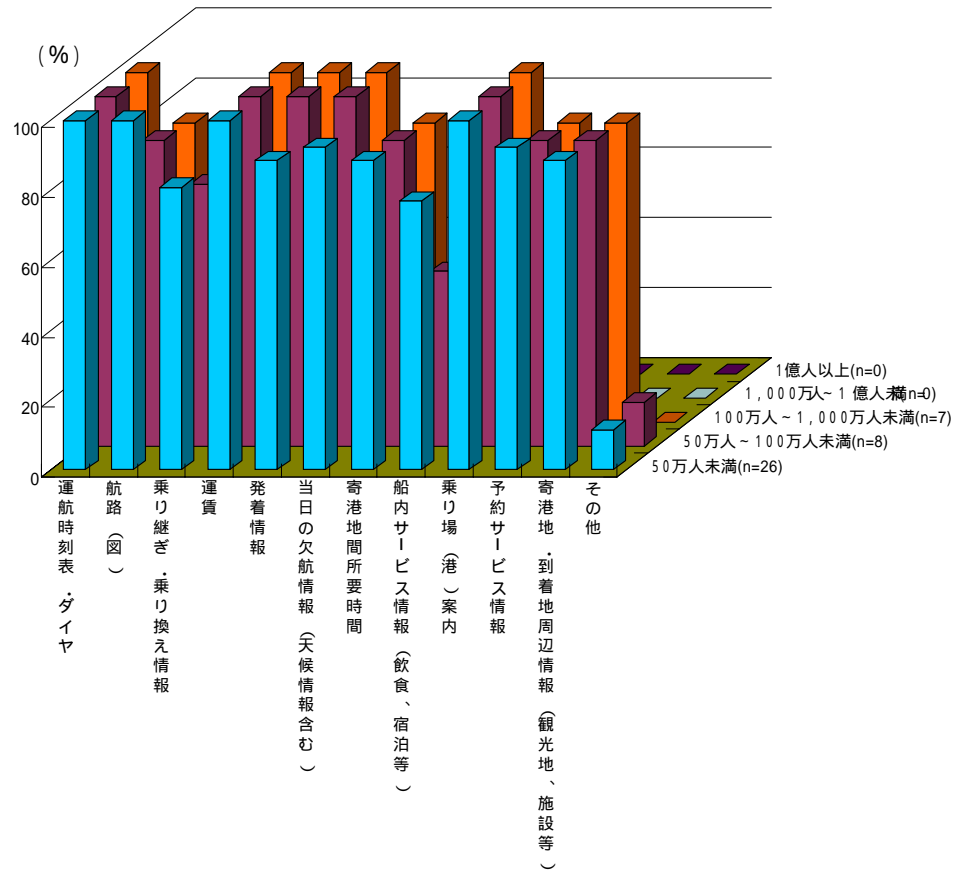


図 2 - 6 事業規模別に見た提供している情報の種類 (船舶)

C . 提供手段

バス・鉄道・船舶の交通機関情報の提供手段としては、あまり事業者間に差は見られず、総じて「掲示板・看板」、「係員による電話応答」、「紙媒体」が活用されている。これは従来型の提供手段が継承されていることを示しているが、「ホームページ」による情報提供が3業種ともに46.9%～80.0%に及んでおり、新しい提供媒体として定着してきていることがうかがえる。なお、船舶事業者については、「ホームページ(PC向け)」、「TV・CATV」、「新聞」、「ラジオ」による情報の提供の割合が高い。

航空事業者については、3社のみの回答であったが、「係員による電話応答」が多い結果となっている。

(注：グラフ中の「HP」は「ホームページ」の略。)

(1)バス

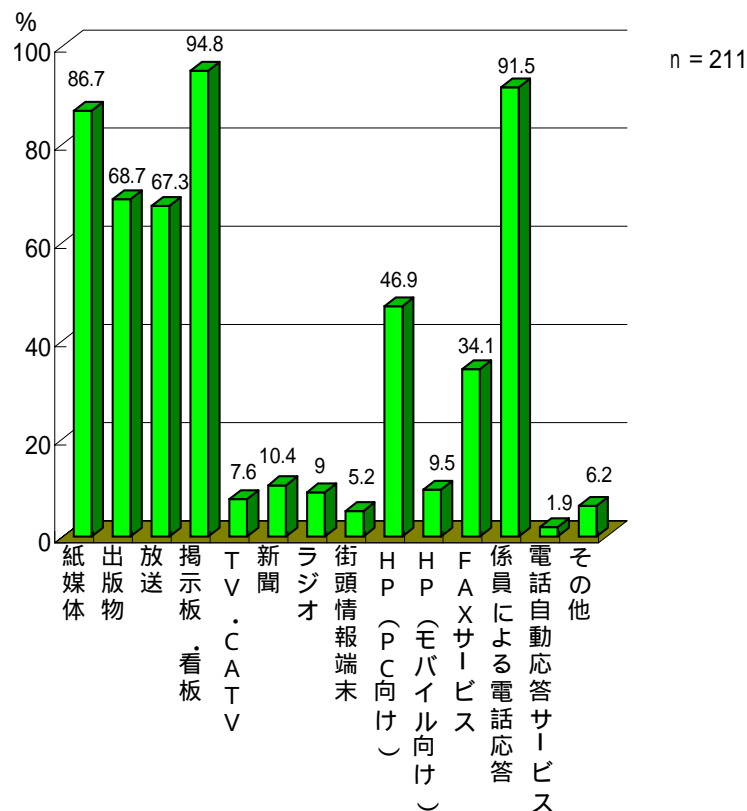


図2 - 7 バス事業者が活用している提供手段

(2) 鉄道

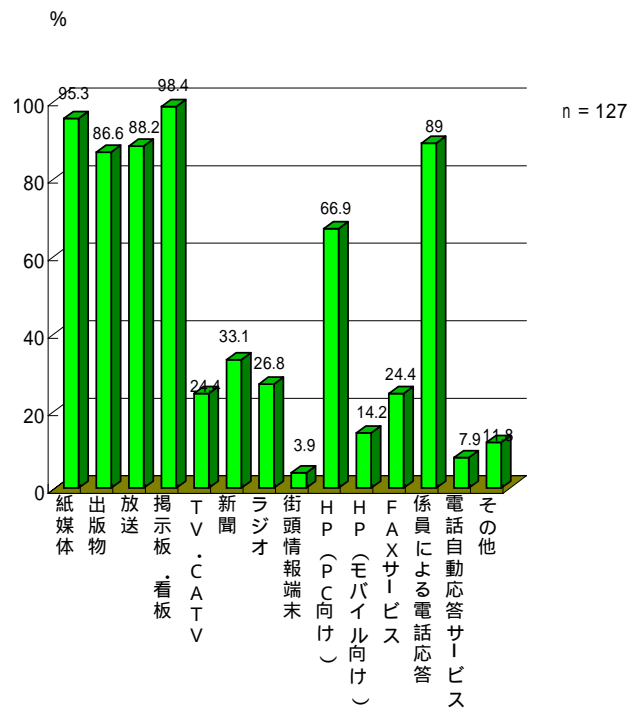


図 2 - 8 鉄道事業者が活用している提供手段

(3) 船舶

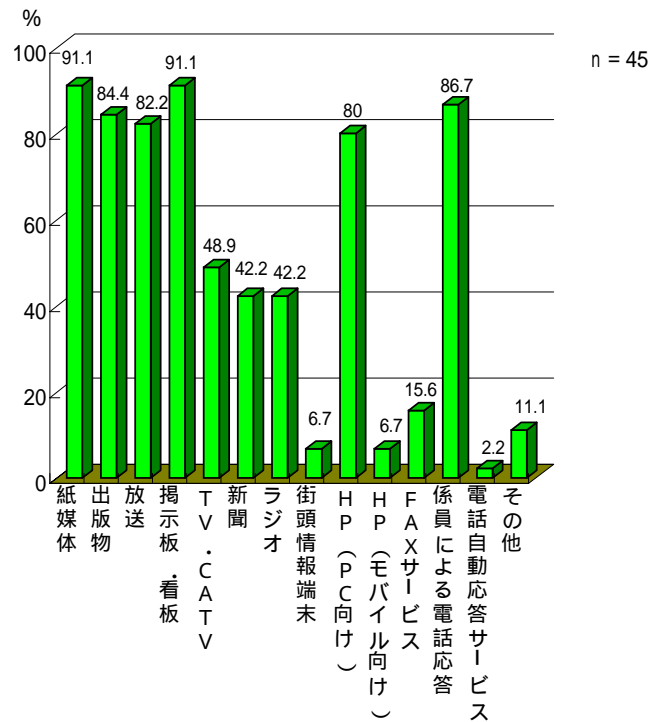


図 2 - 9 船舶事業者が活用している提供手段

D. 事業規模別提供手段

(1)バス

バス事業者においては、事業規模が大きくなるほど「出版物」、「ホームページ(PC向け)」、「係員による電話応答」による情報提供が多くなっている。

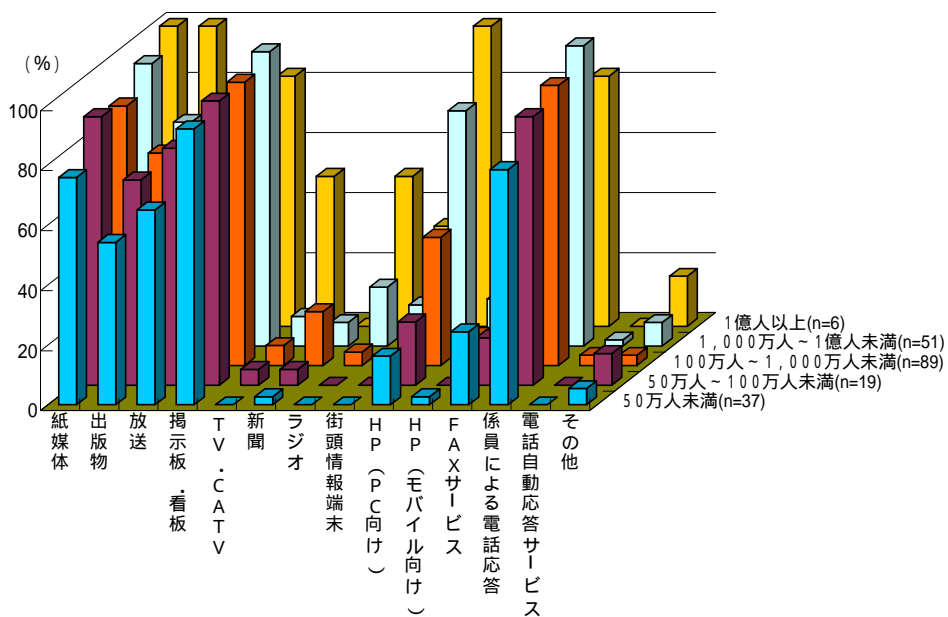


図 2 - 10 事業規模別に見た交通情報の提供手段 (バス)

(2)鉄道

事業者規模が大きくなるに従って、様々な手段をまんべんなく活用する傾向が強まっている。また、バス事業者と同様、規模が大きくなるほどホームページを活用する割合が高くなっている。

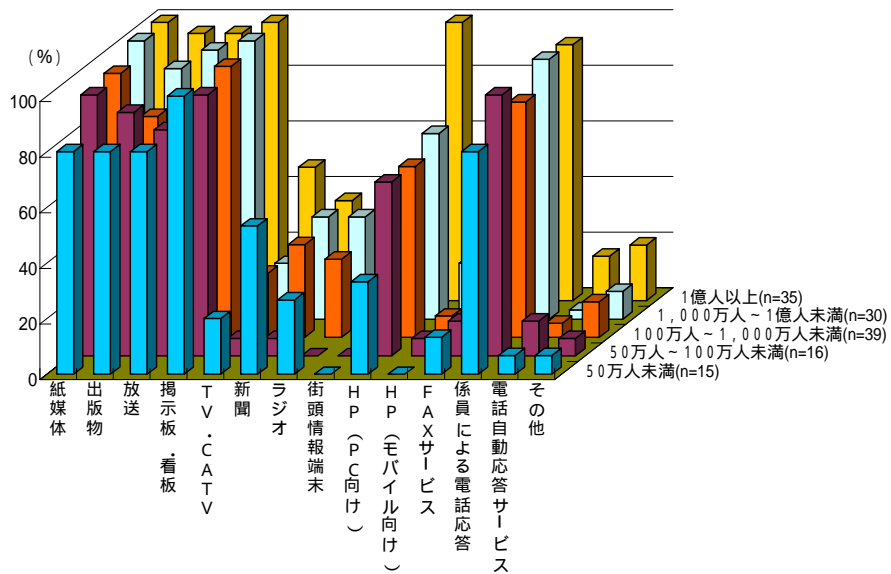


図 2 - 11 事業規模別に見た交通情報の提供手段（鉄道）

(3)船舶

船舶事業者では、アンケート回答者が50万人未満の規模に集中しており、規模別の比較が出来ない。

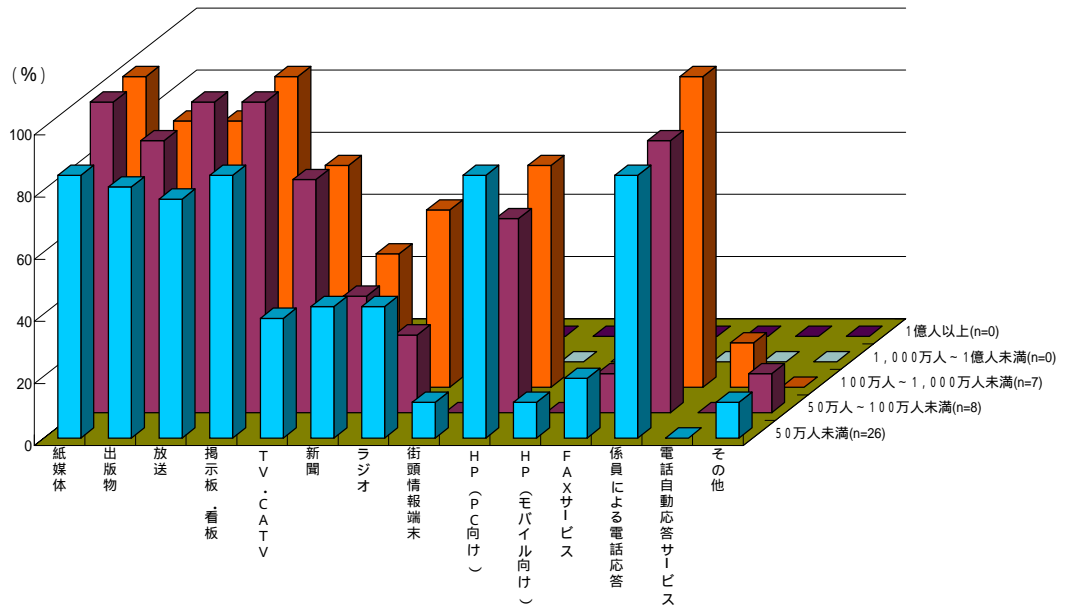


図 2 - 12 事業規模別に見た交通情報の提供手段（船舶）

E . 事業者別主要情報の提供手段の比較

(1)時刻表・ダイヤ

「時刻表・ダイヤ」の提供手段については、バス・鉄道・船舶の各事業者間に大きな差は見られず、「紙媒体」、「掲示板・看板」、「係員による電話応答」等従来からの手段が主体となっている。ただし、船舶については、「ホームページ（PC向け）」による情報提供の割合が高くなっている。

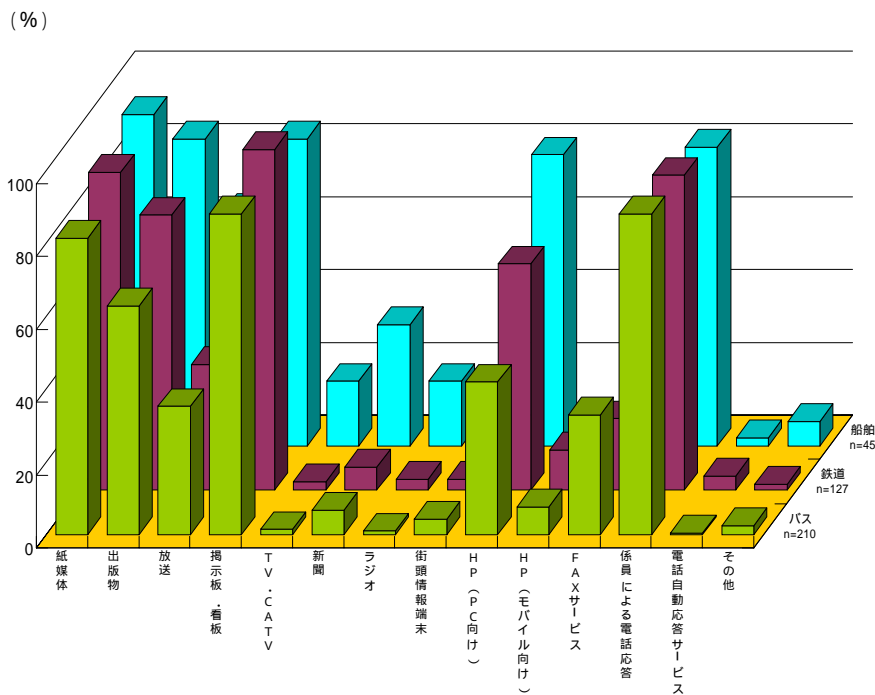


図 2 - 13 主要な交通情報における提供手段（時刻表・ダイヤ）

(2)路線図

路線図の提供手段で事業者間の差が大きいのは「ホームページ（PC向け）」での提供で、バスが最も低く、船舶が最も高い割合を示している。

また、他の情報と比べ、路線図は「係員による電話応答」による提供の割合が顕著に少ない状況が明らかになった。情報内容が音声では伝えにくいものであることに起因していると思われる。

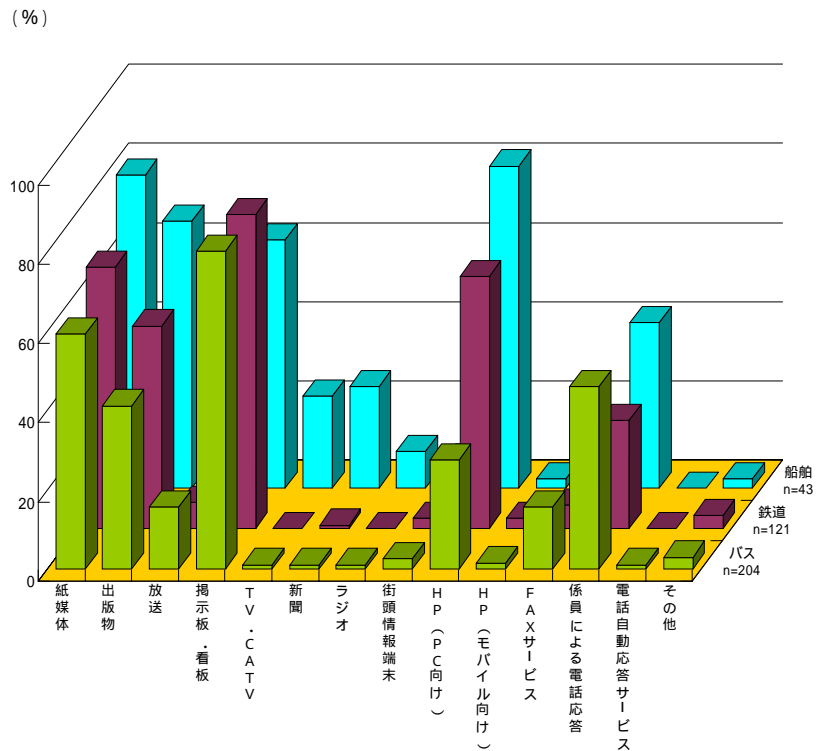


図 2 - 14 主要な交通情報における提供手段（路線図）

(3) 乗り継ぎ・乗り換え情報

乗り継ぎ・乗り換え情報については、どの事業者も他の手段に比べ「係員による電話応答」での情報提供の割合が高くなっている。これは、問い合わせ内容が他社の交通機関情報を含む場合が多い、利用者が掲示板から希望の経路を探しきれない、道案内的な情報提供が必要な場合が多い、等の理由から、係員によるマンツーマンの会話型の対応をせざるを得ない状況であることがうかがえる。

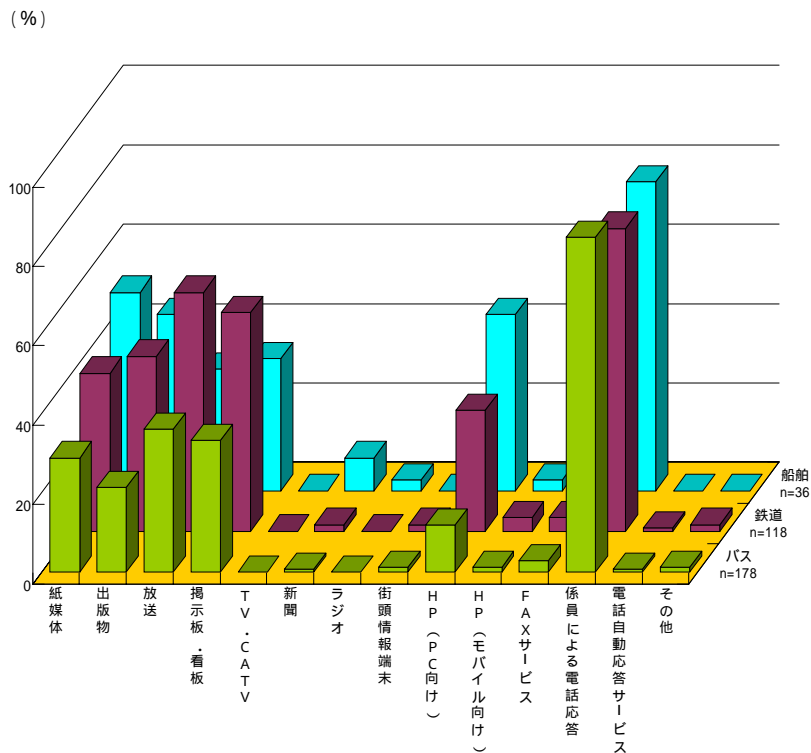


図 2 - 15 主要な交通情報における提供手段 (乗り継ぎ・乗り換え情報)

(4) 運賃

運賃も、「乗り継ぎ・乗り換え情報」と同様、事業者に関わらず「係員による電話応答」による情報提供が最も多くなっている。鉄道では、「係員による電話応答」に次いで「掲示板・看板」が活用されているが、船舶では、掲示板等よりも「紙媒体」、「出版物」での情報提供が行われている。

これは、利用者が運賃情報を入手するタイミングに起因するものと思われる。利用者は交通機関を利用する直前においては、駅等の掲示板により運賃を知ろうとするし、事前または事後に運賃を知りたい場合は、直接、駅等の係員に電話で確かめる傾向にあることに起因していると思われる。

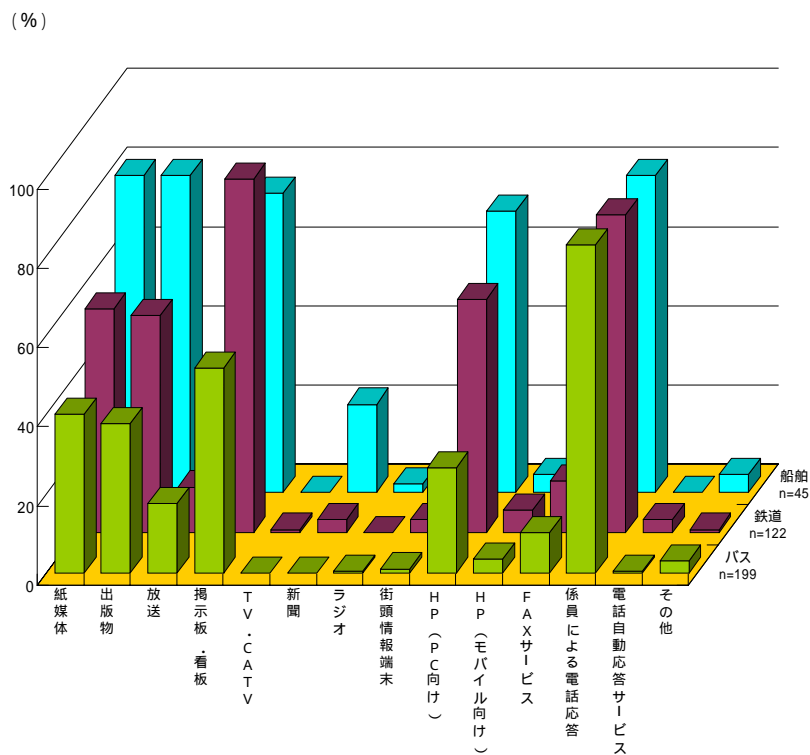


図 2 - 16 主要な交通情報における提供手段（運賃）

2) 利用者が望む情報の種類と提供手段

A. 利用者が望む情報の種類

どの事業者においても利用者が最も望んでいると思われる交通情報は「時刻表・ダイヤ」であると述べている。しかし、2位には、バス事業者が「路線図」、船舶が「運賃」、鉄道が「運行状況」を挙げてきている。

(1)バス

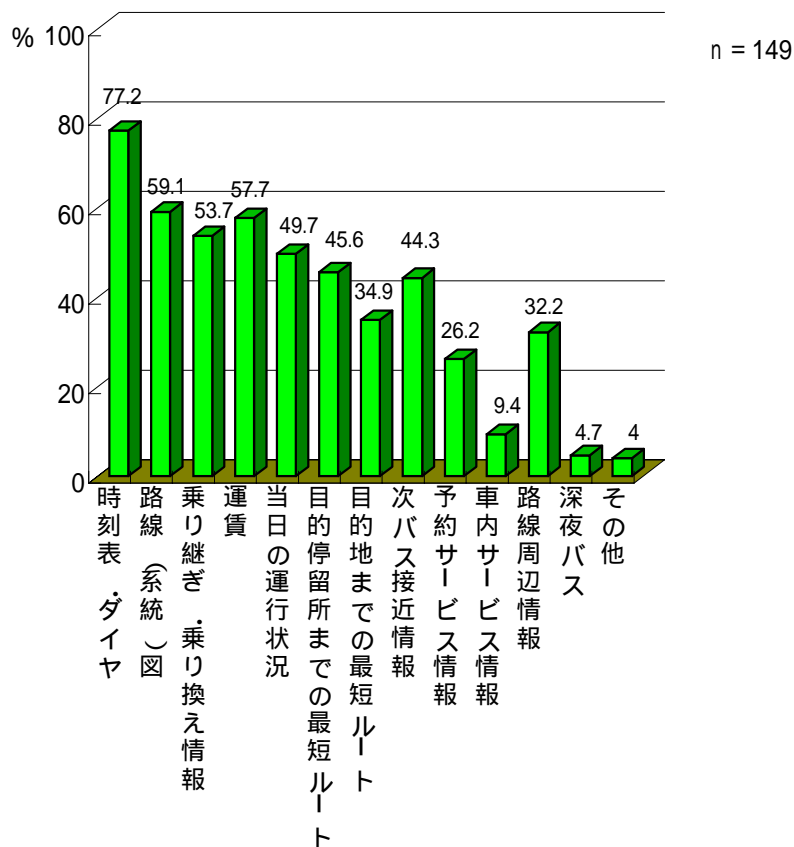


図 2 - 17 利用者が望む交通情報の種類(バス)

(2) 鉄道

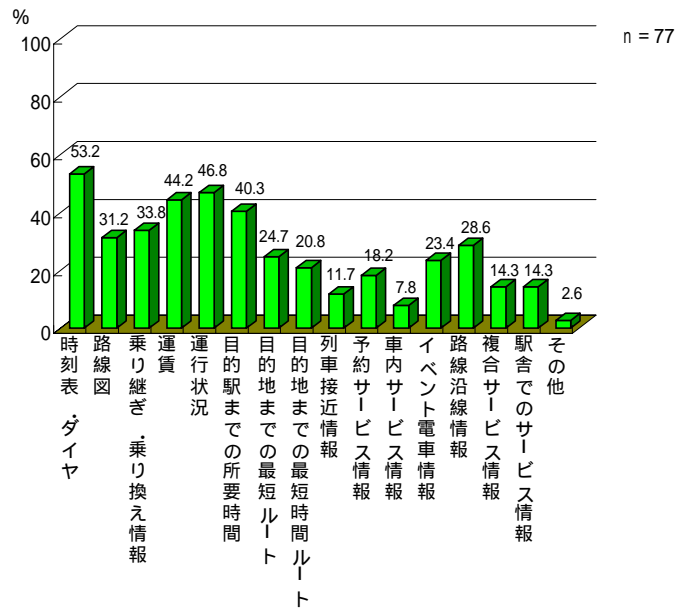


図 2 - 18 利用者が望む交通情報の種類（鉄道）

(3) 船舶

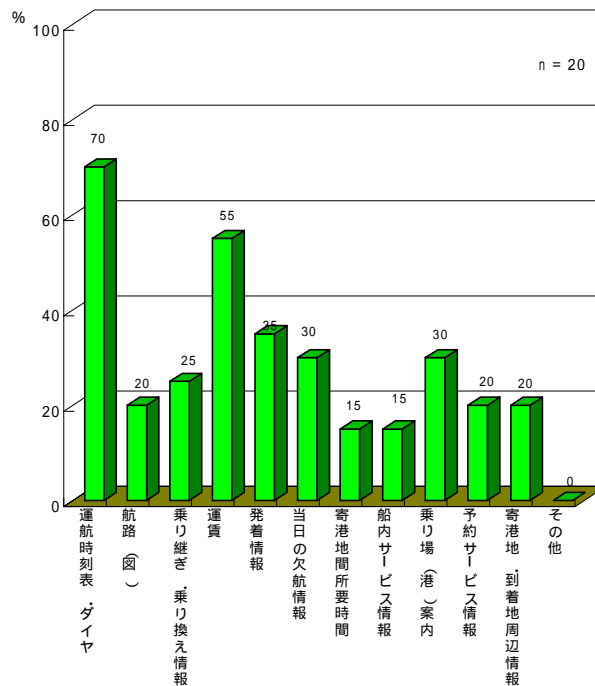


図 2 - 19 利用者が望む交通情報の種類（船舶）

B．事業規模別利用者が望む情報の種類

(1)バス

バス事業者においては、おおむね規模の大きい事業者ほど「次バス接近情報」を利用者に望まれている情報として挙げている。また、1,000万以上1億人未満の事業者が他社に比べ「運賃」(54.9%)の情報が望まれていると回答している。

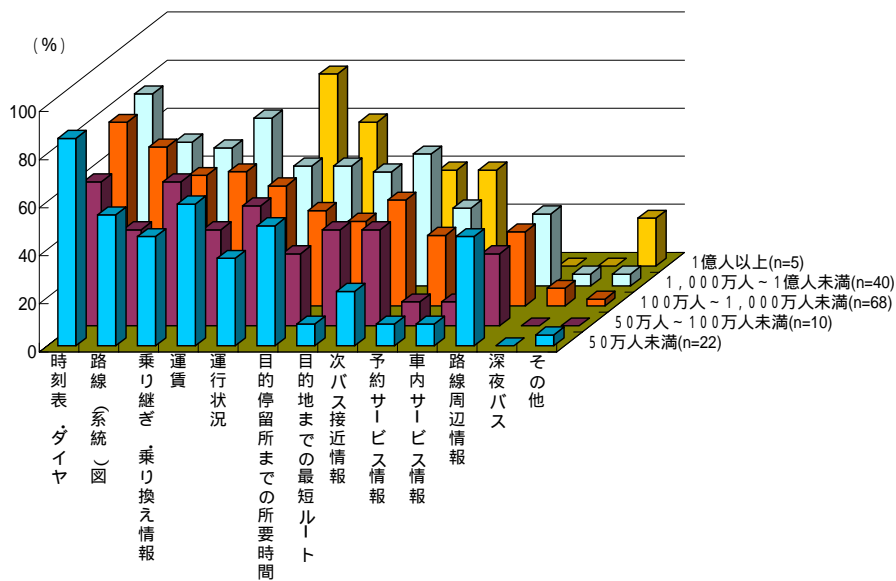


図2 - 20 事業規模別に見た利用者が望む交通情報の種類(バス)

(2) 鉄道

鉄道では、規模が大きくなるほど「運行状況」情報を利用者が望んでいるとの回答結果となった。

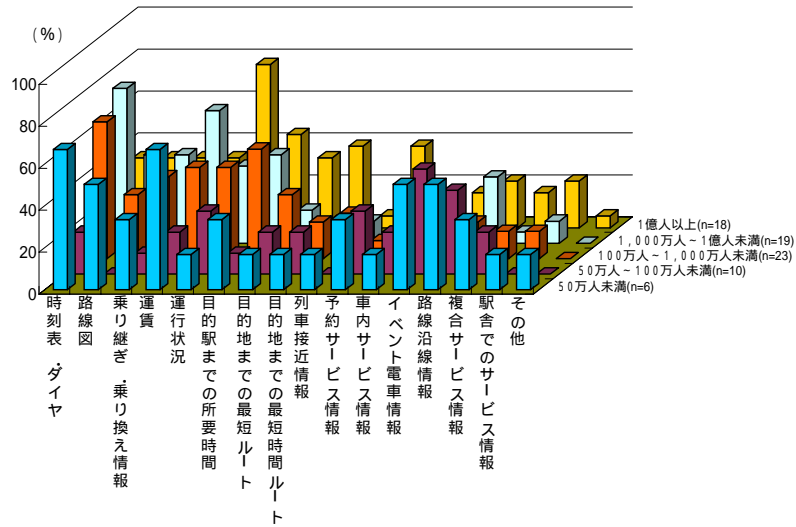


図 2 - 21 事業規模別に見た利用者が望む交通情報の種類 (鉄道)

(3) 船舶

船舶は全体的に回答数が少なかったが、50 万人以上 100 万人未満の事業者で、「運航時刻表・ダイヤ」、「運賃」の情報が望まれているとの回答結果となった。また、100 万人以上 1,000 万人未満の事業者でも「運航時刻表・ダイヤ」の情報が最も望まれているという回答結果となった。

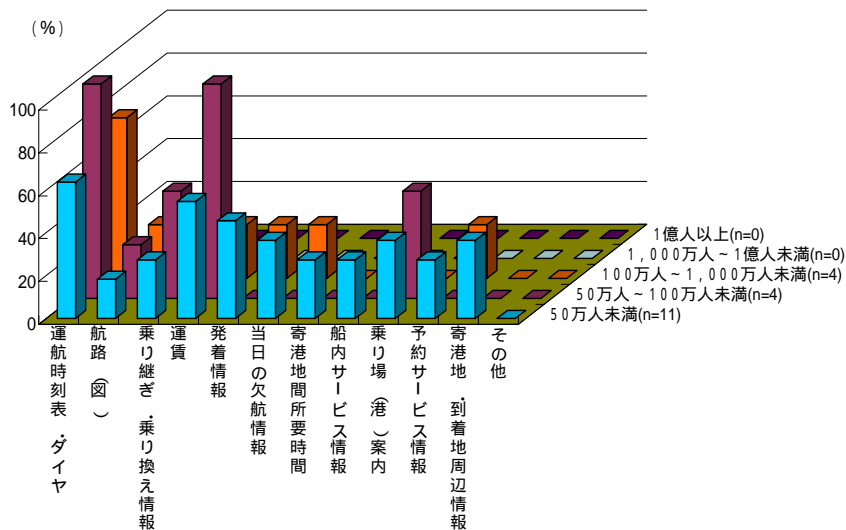


図 2 - 22 事業規模別に見た利用者が望む交通情報の種類 (船舶)

C . 利用者が望む提供手段

現在は提供されていない手段であるが、利用者が望んでいる情報提供の手段としては、事業者間にあまり差はなく、3業種とも「ホームページ(PC向け・モバイル向け)」での情報提供を望んでいるとしている。

(1)バス

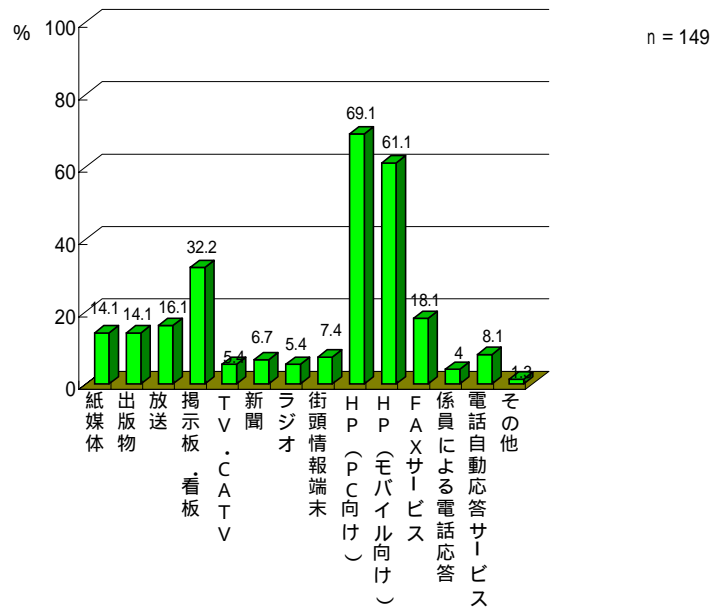


図 2 - 23 利用者が望む交通情報提供手段 (バス)

(2)鉄道

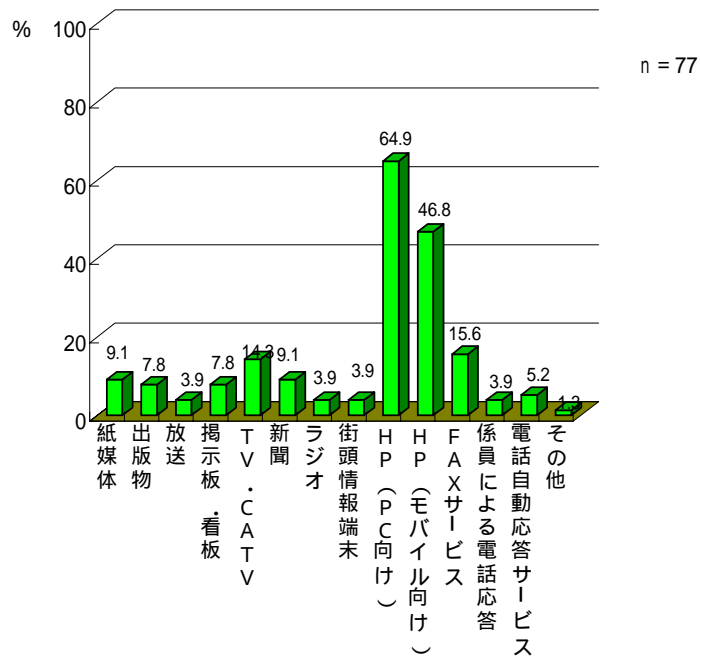


図 2 - 24 利用者が望む交通情報提供手段 (鉄道)

(3)船舶

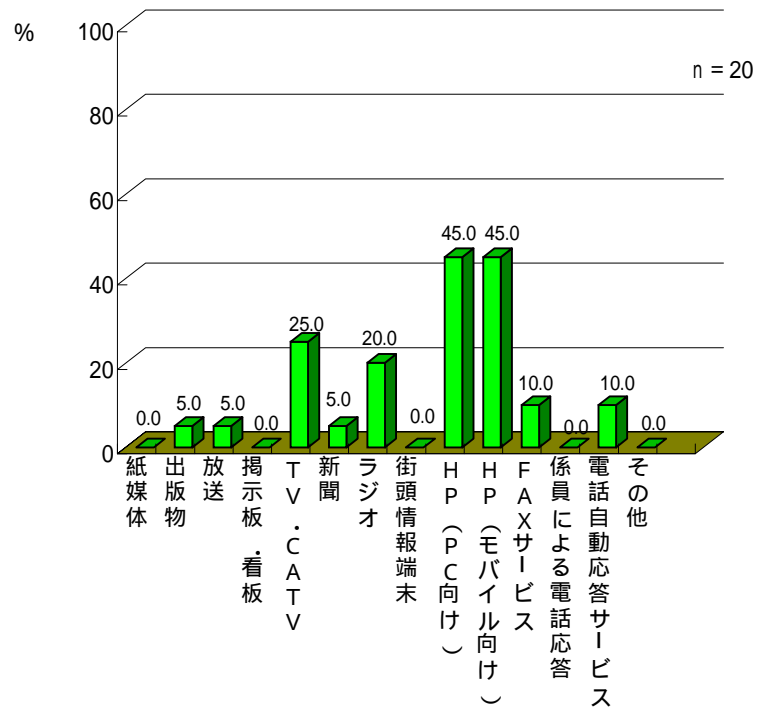


図 2 - 25 利用者が望む交通情報提供手段 (船舶)

D．事業規模別利用者が望む提供手段

どの事業者においても、規模が大きくなるほど「ホームページ（PC向け・モバイル向け）」を望んでいるという傾向が高くなっている。

(1)バス

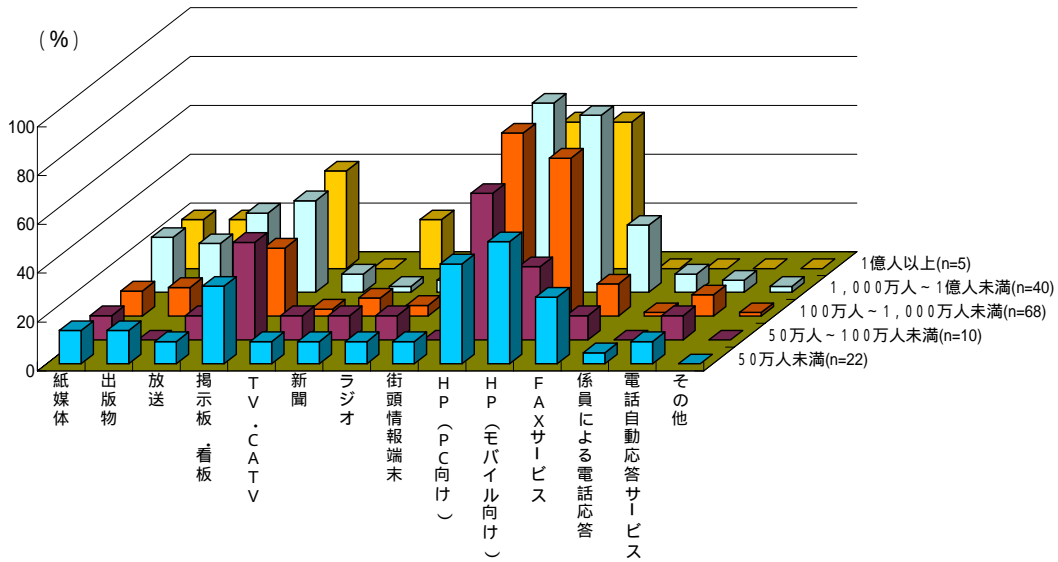


図 2 - 26 事業規模別に見た利用者が望む提供手段（バス）

(2) 鉄道

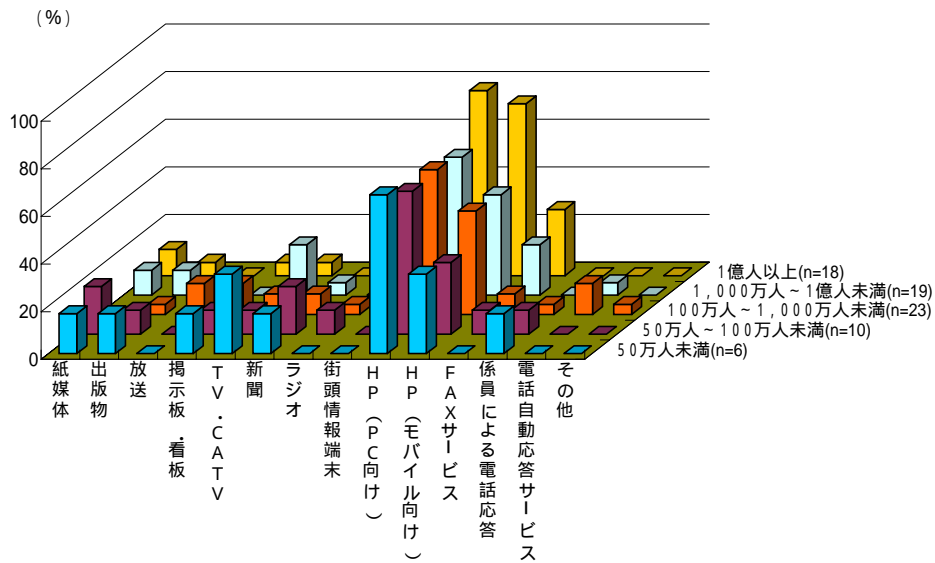


図 2 - 27 事業規模別に見た利用者が望む提供手段 (鉄道)

(3) 船舶

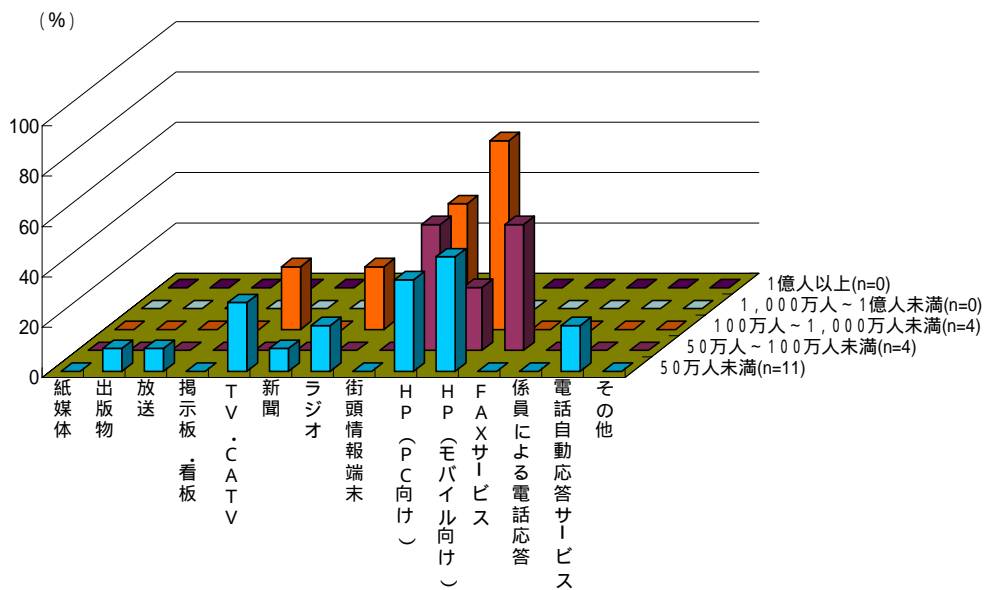


図 2 - 28 事業規模別に見た利用者が望む提供手段 (船舶)

E . ニーズの高い提供手段

各事業者を利用者のニーズの高い提供手段について、その順位をたずねたところ、3事業者ともに第1位にあがっているのは「係員による電話応答」である。また、バス・船舶では「紙媒体」が「係員による電話応答」に次いで2位に挙がっているが、鉄道では「掲示板・看板」が挙がっており、鉄道事業者が駅での情報提供を望まれていると考えることがうかがえる。

(1)バス

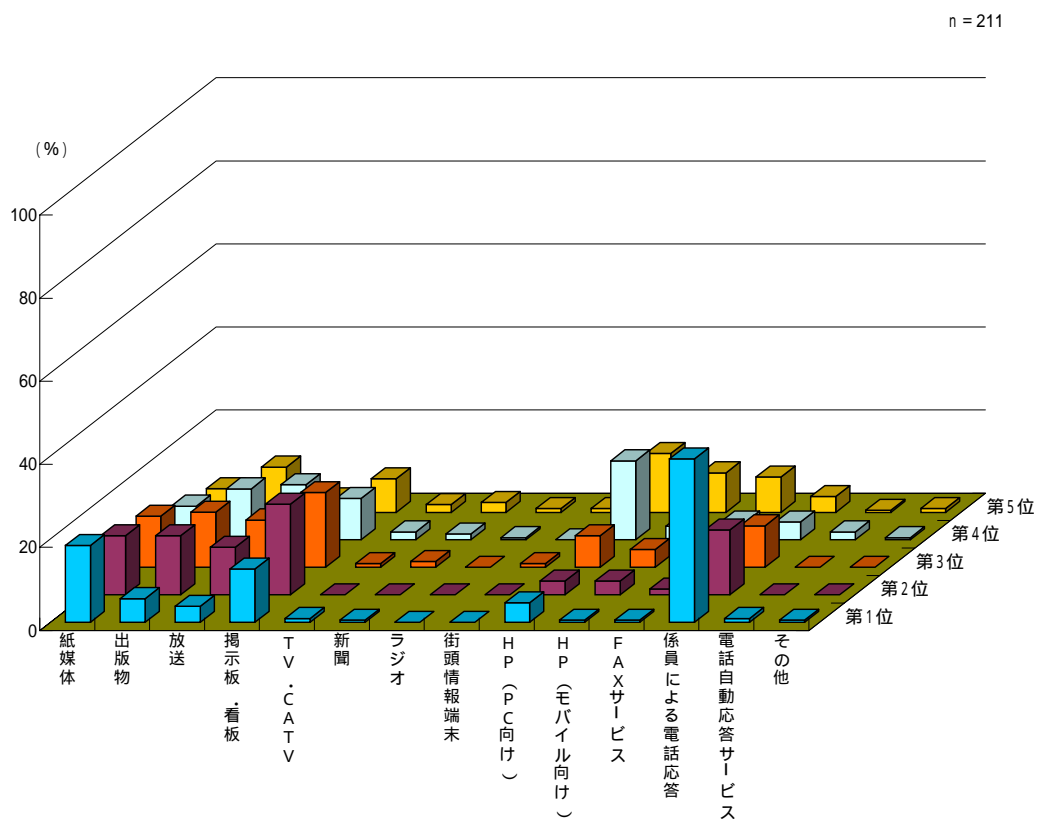


図 2 - 29 ニーズの高い提供手段 (バス)

(2) 鉄道

n = 127

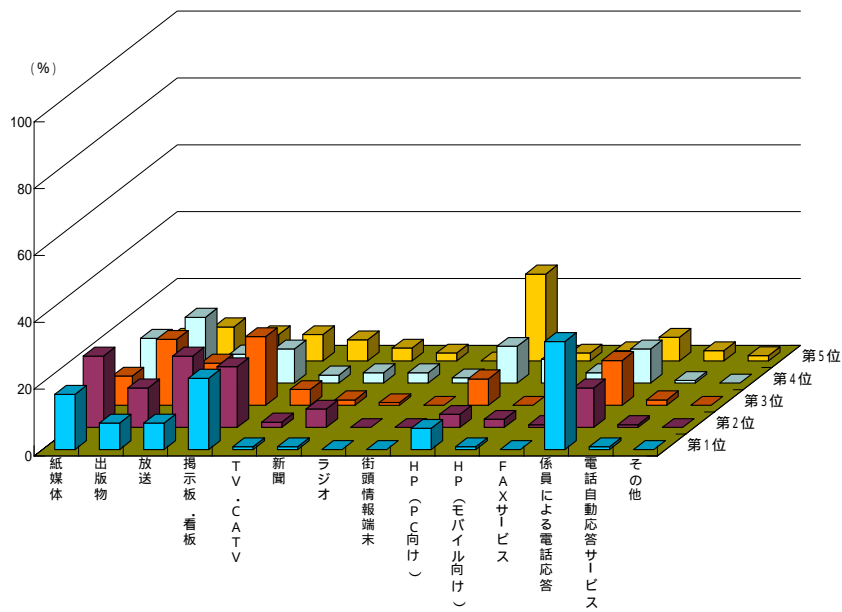


図 2 - 30 ニーズの高い提供手段 (鉄道)

(3) 船舶

n = 45

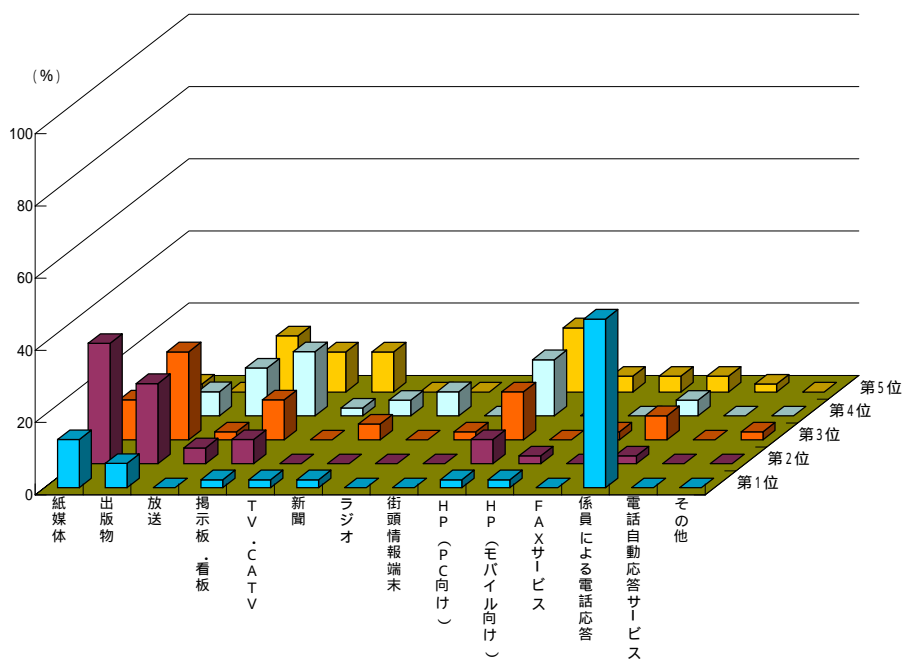


図 2 - 31 ニーズの高い提供手段 (船舶)

3) 交通情報の保有・管理状況

A. 情報保管形態

バス・鉄道・船舶の交通情報の保管形態は、全事業者とも9割以上が「紙ベース」と回答しており、現在のところ紙による保管が一般的である様子がうかがえる。「市販ソフトウェア」、「社内の専用システム」によって情報を保管している事業者は、各事業者において半数程度である。

航空事業者については、「紙ベース」及び「社内の専用システム」が多い回答である。

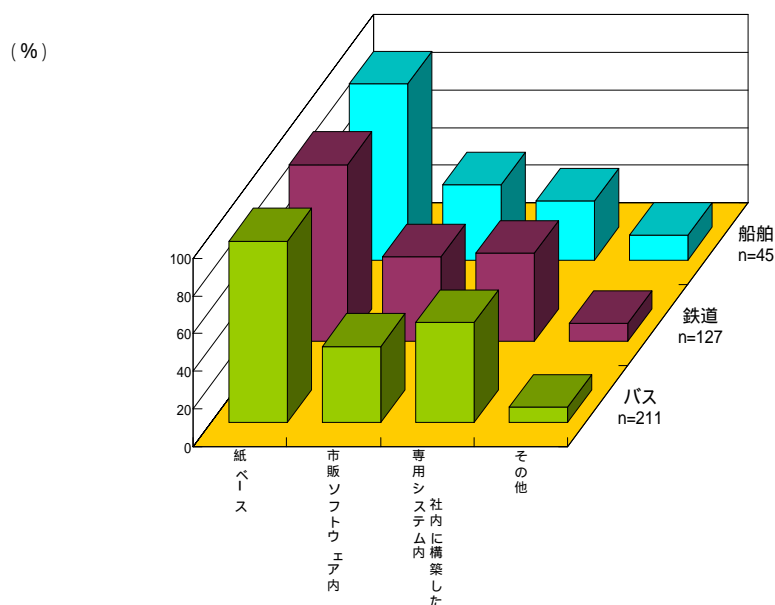


図 2 - 32 - 1 各事業者の情報保管形態

また、主要な提供情報の保管形態についてたずねたところ、どの情報についても紙による保管が最も多く、全体的には未だ情報化が浸透していない状況がうかがえる。バス・鉄道では「時刻表・ダイヤ」といった運行管理系に社内専用システムを導入している事業者が多い。船舶では「市販ソフトウェア内」が多くなっており、バス・鉄道に比べ事業規模の小さい事業者が多い船舶では、より安価な方法での保管を行っている様子がうかがえる。

(1)バス

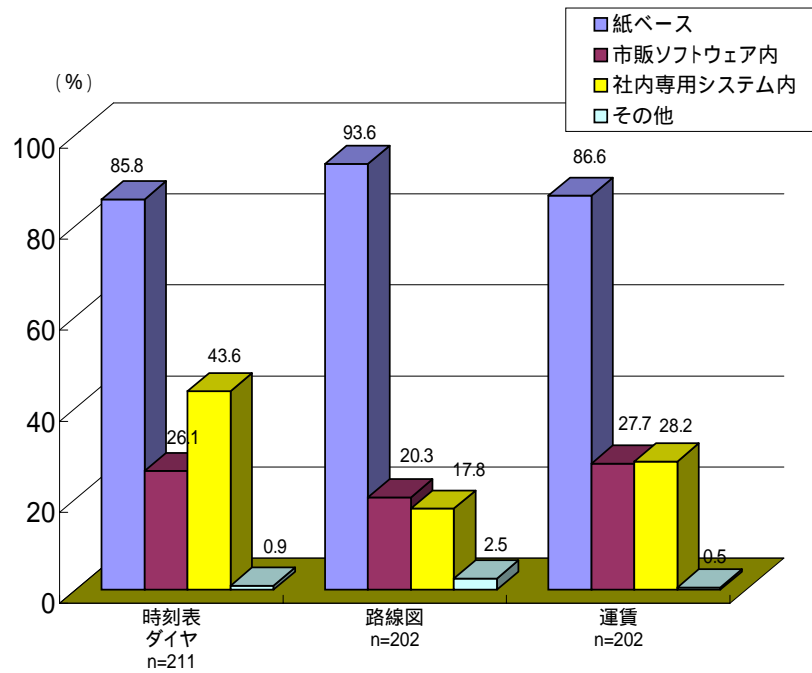


図 2 - 32 - 2 主要情報における事業者別保管形態（バス）

(2)鉄道

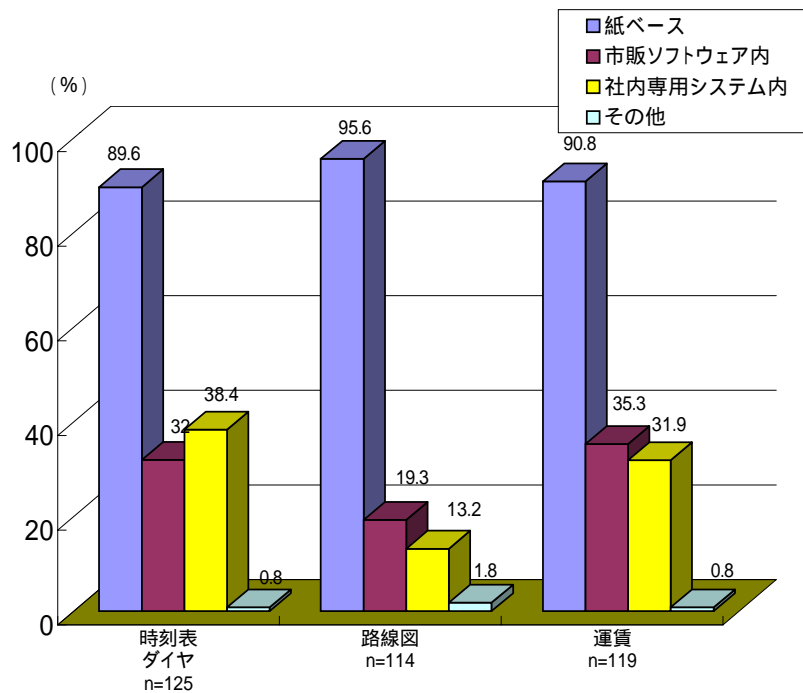


図 2 - 32 - 3 主要情報における事業者別保管形態（鉄道）

(3)船舶

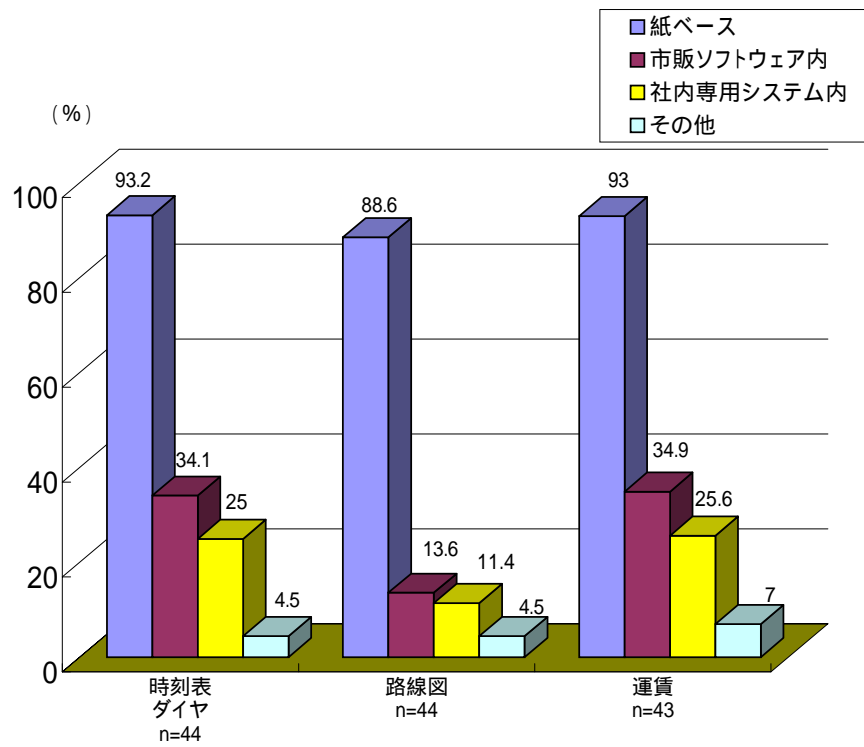


図 2 - 32 - 4 主要情報における事業者別保管形態（船舶）

B．事業規模別情報保管形態

(1)バス

バス事業者では、1億人以上の事業者では社内専用システムでの情報保管がほぼ100%で、次いで100万人以上1億人未満の企業における比率も比較的高い。規模が大きいほど社内専用システムでの保管が多くなる傾向が見られる。

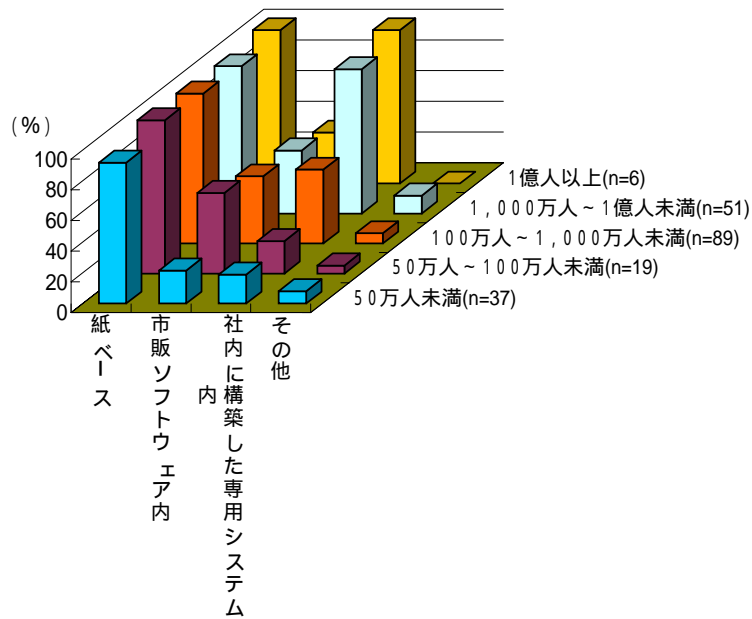


図2 - 33 事業規模別に見た情報保管形態（バス）

(2) 鉄道

鉄道事業者では、1億人以上の事業者における、社内専用システムでの情報保存比率が他の事業規模と比べ突出している。鉄道においても事業規模と情報化とが正比例の関係にあることが読みとれる。

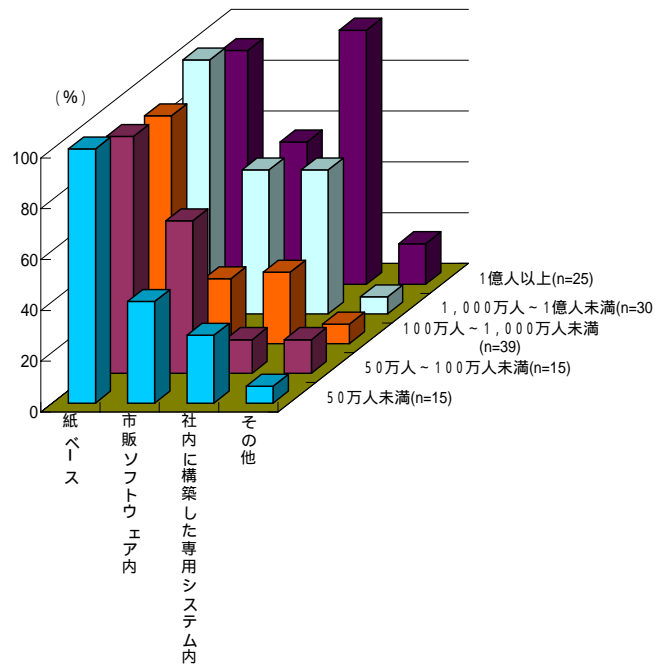


図 2 - 34 事業規模別に見た情報保管形態（鉄道）

(3)船舶

船舶事業者はバス・鉄道事業者と比べ、事業規模そのものが小さいが、規模が大きくなるほど、社内専用システムでの保管割合が増えている。しかし、船舶業界の多くが50万人未満の規模であることを考えると、大半が紙ベースに続いて市販ソフトウェア内での保管であることがうかがえる。

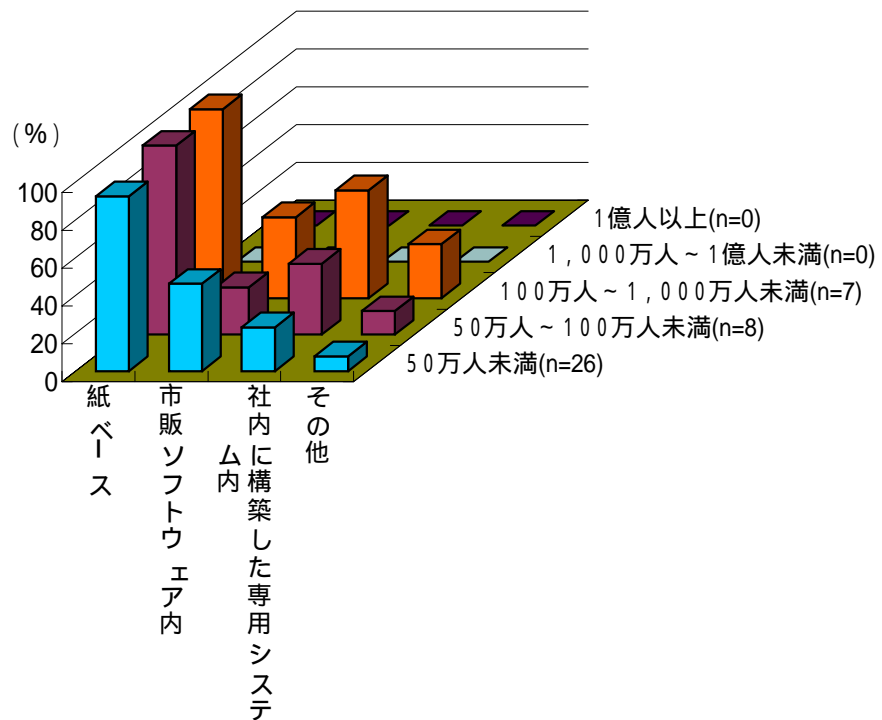


図 2 - 35 事業規模別に見た情報保管形態（船舶）

C . 情報の更新頻度

情報の更新頻度については、各事業者とも「随時更新する」という回答が最も多く、変更がある都度更新を行っている様子がうかがえる。次いで「1年超」との回答が続き、1年以上更新を行わない事業者も半数程度存在する。また、船舶については、「更新しない」と回答した事業者が、他の事業者に比べ多い結果となった。

(1)バス

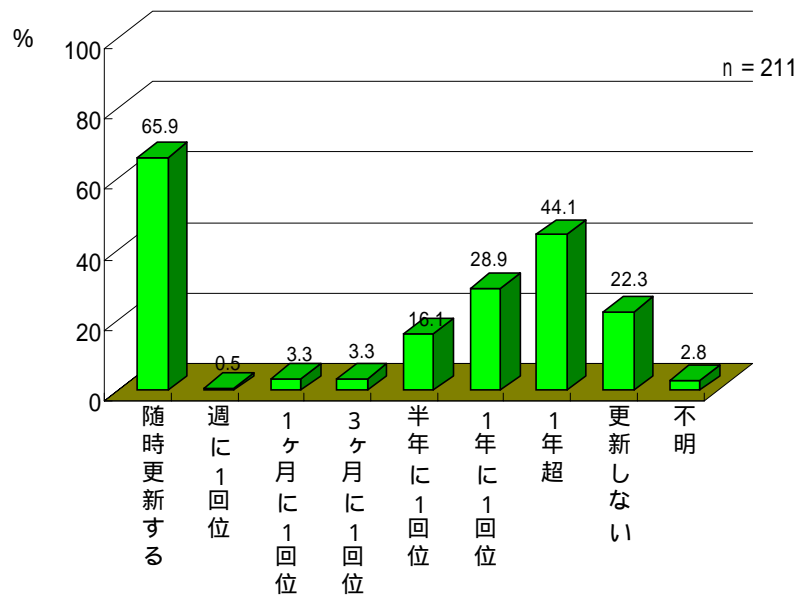


図2 - 36 情報の更新頻度（バス）

(2)鉄道

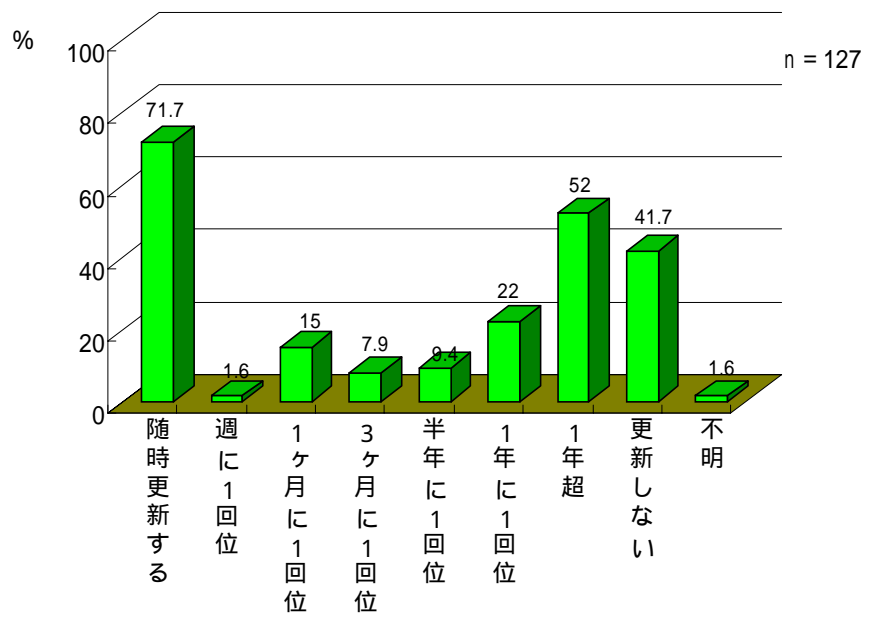


図 2 - 37 情報の更新頻度（鉄道）

(3)船舶

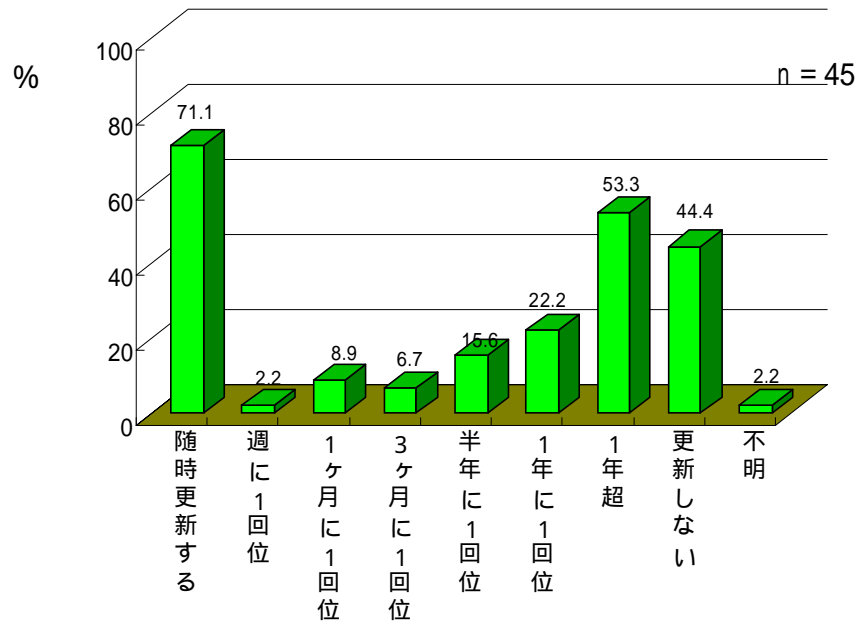


図 2 - 38 情報更新頻度（船舶）

D．更新日までの期間

交通情報は改訂に伴って、その実施日あるいは情報によってはそれ以前に改訂後の情報開示が求められる。改訂後の情報の提供は、駅の掲示板、チラシ同様に、情報システムにおいてもタイムリーに実施されなければならない。改訂の内容確定から情報開示までに、どれ位の期間の余裕があるかを調査した。交通情報の中でも主要な情報と思われる「時刻(運航)表・ダイヤ」、「路線(系統)図・航路図」、「運賃」、「予約サービス情報」、「路線沿線情報・寄港地周辺情報」の5つについて、変更内容の実施日から何日(何ヶ月)前に変更内容が確定しているかという点についてたずねた。

バスでは、利用者の関心が最も高いと思われる「時刻表・ダイヤ」情報は、「1週間超～1ヶ月」と「1ヶ月～3ヶ月」、「3ヶ月～6ヶ月」を合わせて70.0%を超えていることから、直前ではなく、比較的早い段階で情報が確定しているといえよう。鉄道では、「時刻表・ダイヤ」については、3割が「1週間超～1ヶ月」に回答している。船舶については、「運航時刻表・ダイヤ」は「1ヶ月～3ヶ月」に確定するとの回答が最も多いが、時刻表以外の情報は1ヶ月以内に確定しているとの回答が多い。

情報の種類毎では、各交通事業者共に、運行管理や運賃という交通事業者の基本的な情報は、確定する時期が不明という回答は少ないが、「予約サービス情報」と「沿線(周辺)情報」については、「不明」の回答が多い。事業者においては、これらの情報提供のタイミングを明確に定めていないため、更新日までの期間も明解には出来ないのではないかと思われる。

(1)バス

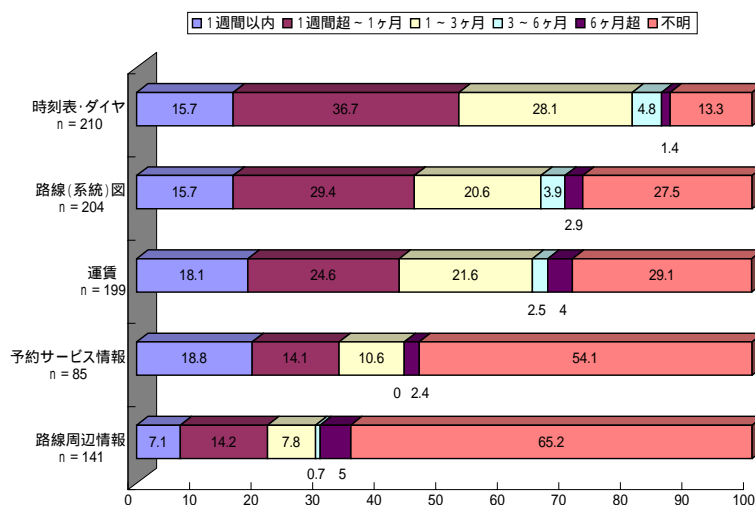


図2 - 39 主要情報における情報更新期間(バス)

(2) 鉄道

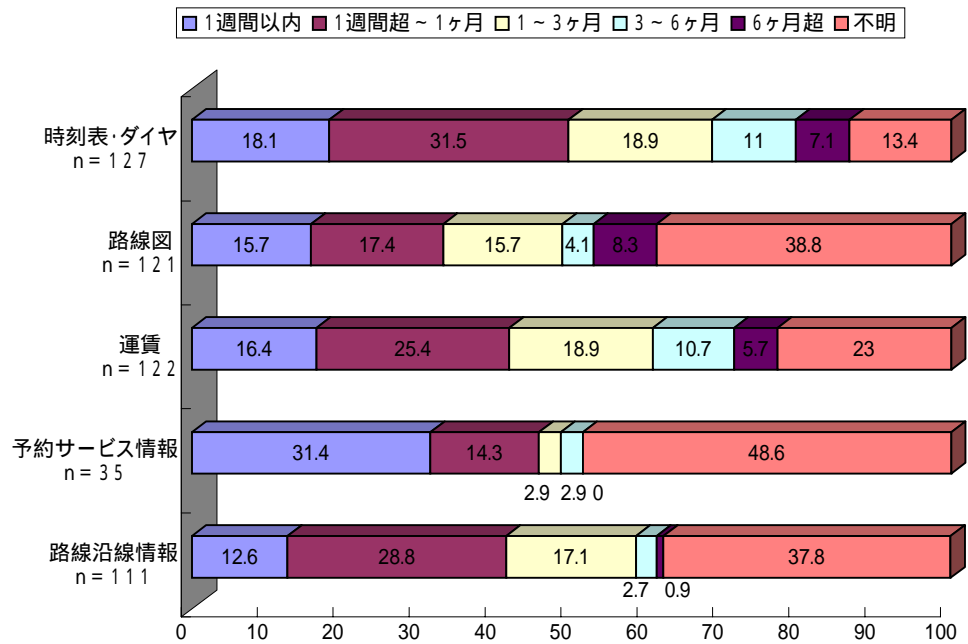


図 2 - 40 主要情報における情報更新期間（鉄道）

(3) 船舶

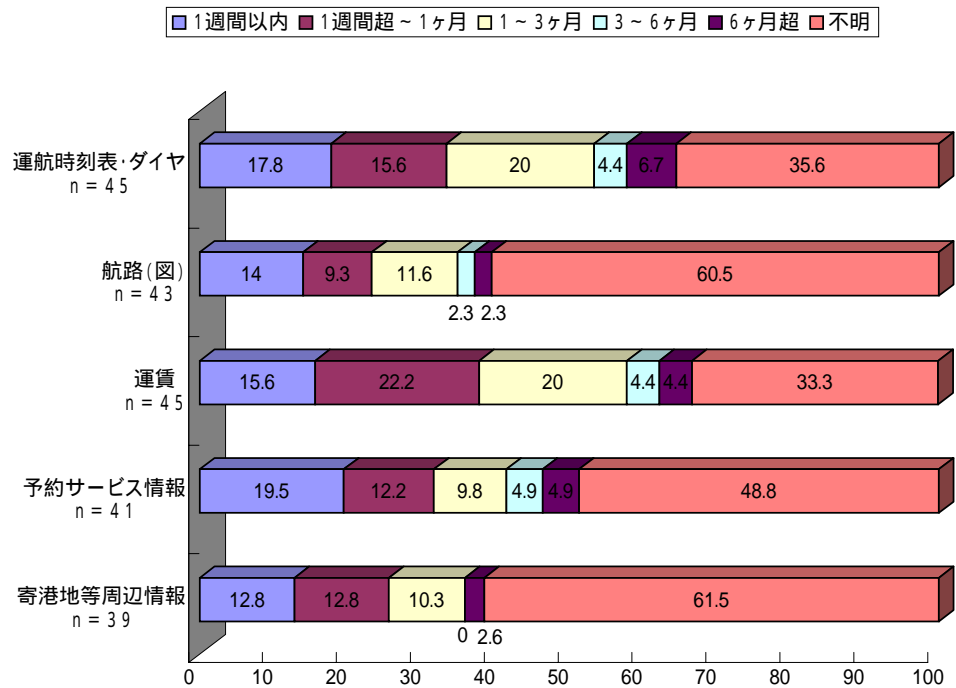


図 2 - 41 主要情報における情報更新期間（船舶）

4) 他社連携の情報提供の現状

A. 乗り継ぎ・乗り換え情報の連携状況

乗り継ぎ・乗り換え情報を提供する際の他社交通機関との連携状況についてたずねたところ、バス・船舶については、自社の交通機関以外の情報（バスであれば、他社鉄道の列車への乗り継ぎ案内等）も含んだ情報を提供しているとの回答が最も多くなっており、異なる交通機関情報のニーズが高いことがうかがえる。

一方、鉄道では「他社の鉄道路線」を含んだ情報を提供しているとの回答が最も多く、同業種の交通機関情報が求められる傾向にあることがうかがえる。

また、全業種とも「自社路線」のみの情報提供を行っているという回答は少なく、なんらかの形で、自社の他交通機関や他社と連携した情報提供が行われていることを示している。

(1)バス

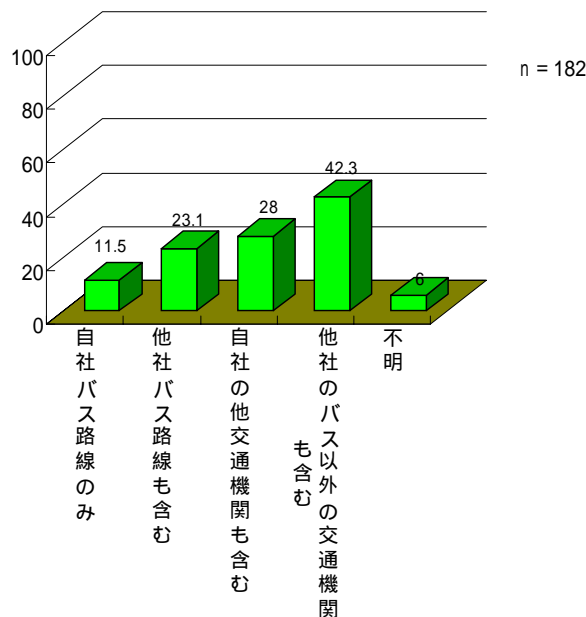


図2 - 42 乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携状況
(バス)

(2)鉄道

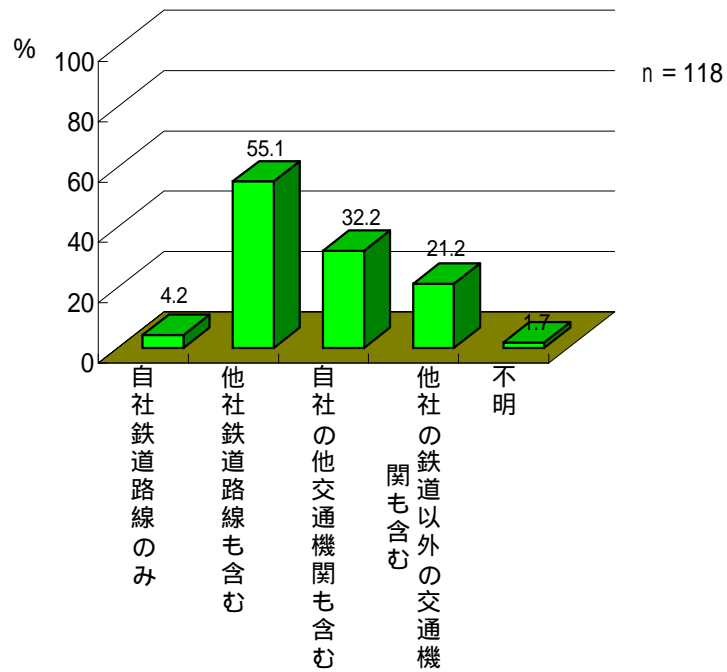


図 2 - 43 乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携状況
(鉄道)

(3)船舶

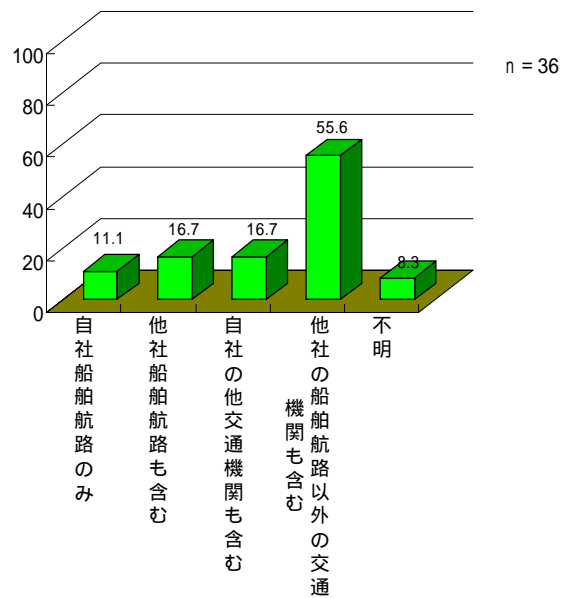


図 2 - 44 乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携状況
(船舶)

B . 事業規模別の乗り継ぎ・乗り換え情報の連携

バス事業者では、規模に関わらず「他社のバス以外の交通機関情報」を最も多く提供している。しかし、年間運送人数が50万人未満の業者のみ「他社のバス以外の交通機関情報」との回答の割合が低く、「他社バス路線も含んだ情報」、「自社の他交通機関情報」の割合の方が高くなっている。

(1)バス

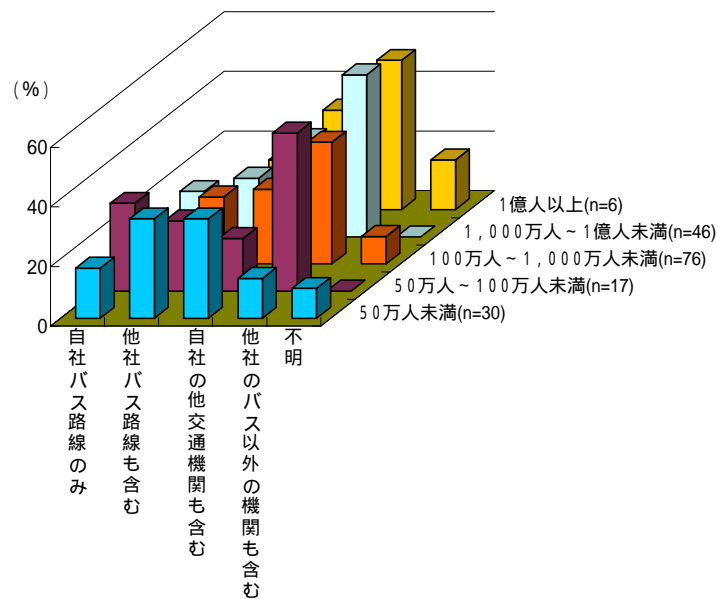


図2 - 45 事業者規模別に見た乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携（バス）

(2)鉄道

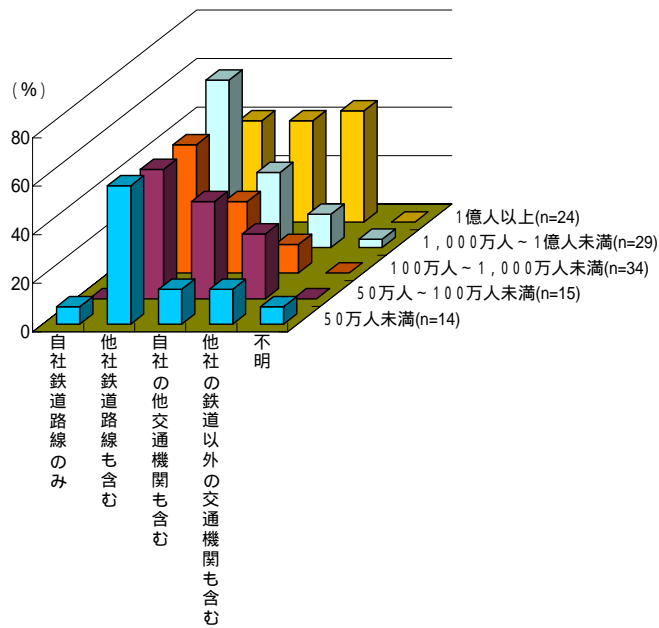


図 2 - 46 事業者規模別に見た乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携（鉄道）

(3)船舶

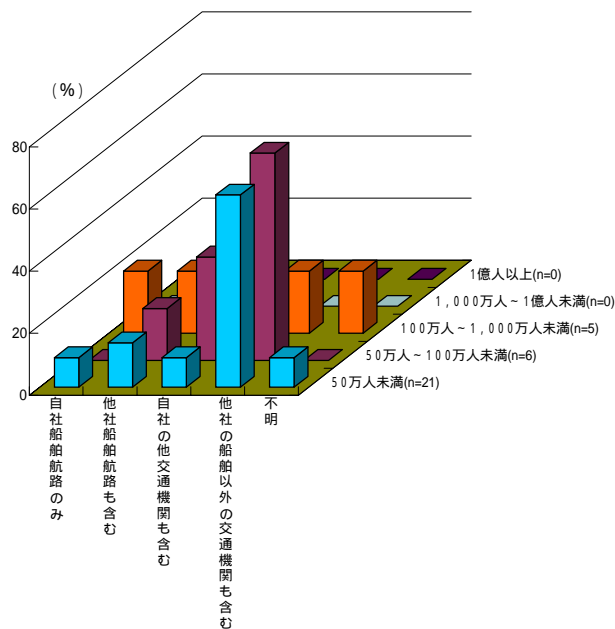


図 2 - 47 事業者規模別に見た乗り継ぎ・乗り換え情報における他社との連携（船舶）

C . 他社との情報連携状況

前項では、提供情報の内容として、他社交通機関情報を連携して提供している状況を調べたが、本項では、それら他社交通機関との情報入手、提供の状況を確認する。

バス・鉄道については「他社との共同・連携は行っていない」との回答が最も多く、独自に情報提供を行っている様子が見える。

船舶については、「他社媒体に自社から情報提供」との回答が最も多く、他社との連携を活発に行っている。

(1)バス

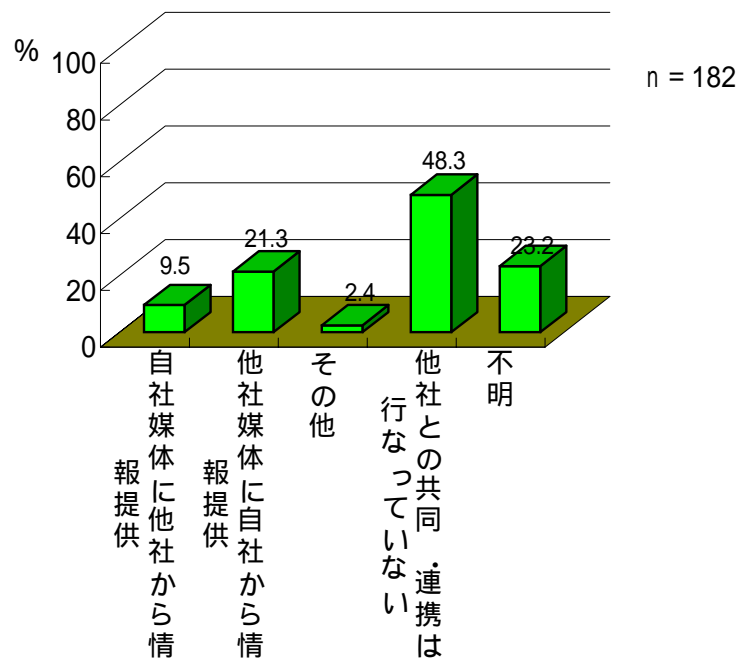


図 2 - 48 他の事業者との情報連携状況 (バス)

(2)鉄道

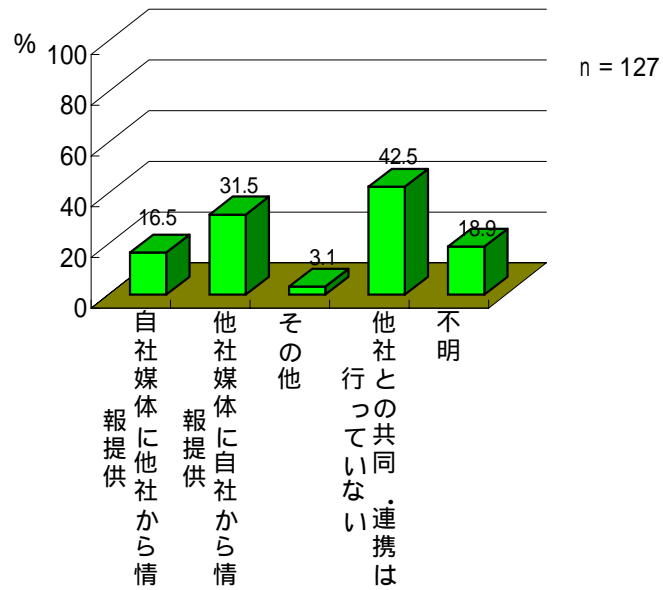


図 2 - 49 他の事業者との情報連携状況（鉄道）

(3)船舶

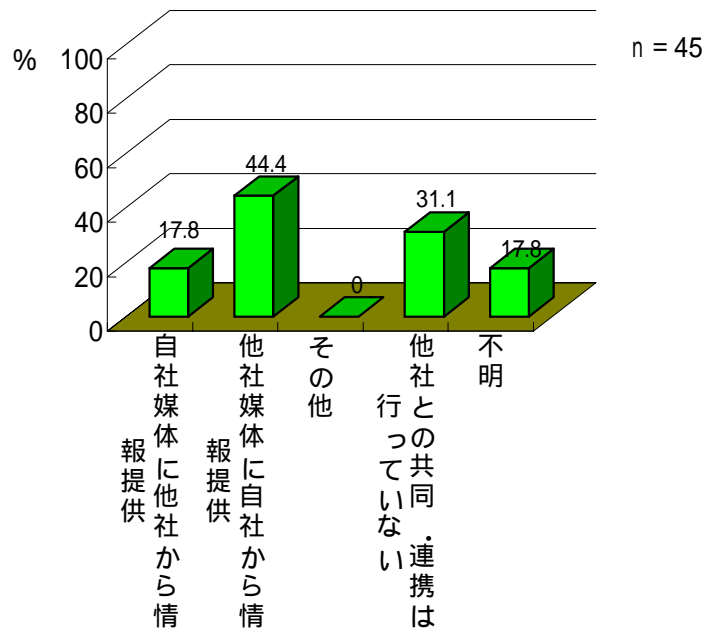


図 2 - 50 他の事業者との情報連携状況（船舶）

D . 放送メディアによる提供状況

放送メディアに対する情報提供状況としては、船舶・鉄道事業者のほぼ4割が情報提供を行っている。バスは、約1.5割に留まっている。

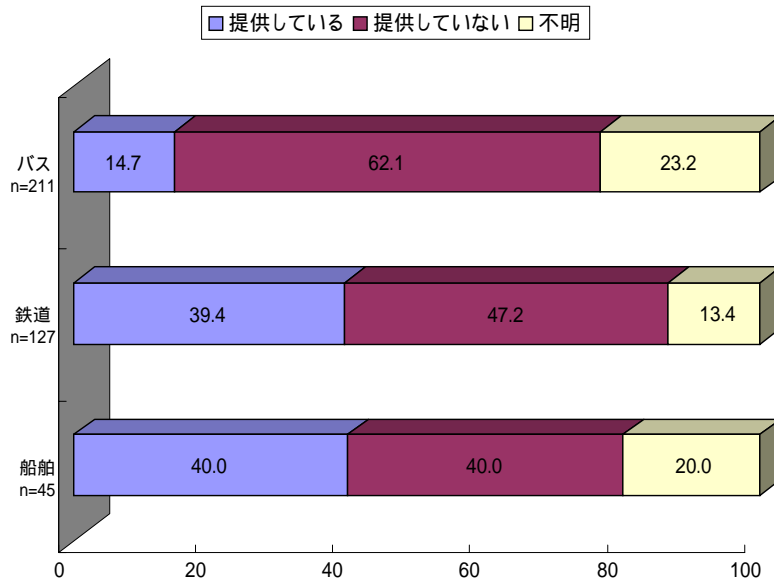


図2 - 51 放送メディアに対する情報提供状況

また、情報提供の際の受け渡し媒体についてたずねたところ、各事業者とも「電話」との回答が最も多かった。次いで「FAX」が続いており、手軽な手段による情報提供を行っている。

表2 - 1 情報提供時の受け渡し媒体

| | バス | 鉄道 | 船舶 | 合計 |
|----------|----|----|----|-----|
| 電話 | 12 | 32 | 11 | 55 |
| FAX | 15 | 13 | 6 | 34 |
| インターネット | 2 | | | 2 |
| 取材に来る | 1 | | | 1 |
| テープ持参 | 1 | | 1 | 2 |
| 紙 | | 3 | | 3 |
| 記者クラブ | | 5 | | 5 |
| 生放送 | | 1 | | 1 |
| 内部ネットワーク | | 1 | | 1 |
| 郵送 | | | 1 | 1 |
| 合計 | 31 | 55 | 19 | 105 |

5) 現状の問題点

本項では、ヒアリング対象の交通事業者に対し、交通情報の保有・管理・提供の現状と問題点についてたずねた。

(1) 交通情報の電子化状況

前項でも見た通り、現在交通事業者の半数がなんらかの情報システムを導入しているとの結果であった。交通情報の保有・管理・提供の問題点を理解する上で、交通事業者の持つ情報システムの内容を知っておく必要がある。

事例として鉄道事業者における情報システムの構成イメージを見ると以下のサブシステムに分けられる。

運行管理システム

輸送計画、運行管理、信号保安からなる。輸送計画によりダイヤが決まり、時刻表が作成される。運行管理によりダイヤに基づいた列車運行が行なわれる。ここから運行状況情報が出され、関係各方面に通知される。また路線情報もここから出される。

本社システムの構成

- a . 収入管理：売り上げや会計等の収支処理
- b . 統計管理：収支結果や利用状況等の統計処理
- c . 運用管理：駅毎の運賃データの作成や各駅への運賃データの送信

駅務管理システムの構成

券売機、精算機、改札機や、これらの動作を管理する監視盤、会計データや運賃、業務情報等を管理するデータ集計機等からなる。

一般的に運行管理システムは交通事業の基幹となる業務である。これらのシステムに異常を来たすことは大きな事故に繋がりがねず、外部から閉鎖された専用システムとして構築されるのが普通である。多くの交通情報を保有しているが、上記の理由から他システムからのアクセスや、定期的な情報系システムへのデータ切り出し等の作業も行われていない現状が見られる。

駅務管理は、各駅における発券機、改札機等での運賃収入がインプットされる場所であり、本社の収入管理部と専用ネットワークを介して接続されている。しかし、運行管理システムや本社システムとのリアルタイムの情報交換はされていない。運賃改定等の際は、本社システムの運用管理業務のなかで、運賃テーブルが更新され、その情報は各駅に配布される。

本来、時刻表、運賃、路線、乗り継ぎ・乗り換え情報等は、これらのシステムが保有しているため、その情報を切り出し、情報提供用のシステム（ホームページを含む）にて利用できることが望ましい。しかし、これら既存の業務系システムと、情報提供系システムがリンクしているとは言い難い状況であり、情報提供のために、再度情報を入力し直している事業者が多い。

一部大手の交通事業者で、運行管理、本社システム、駅務管理、情報提供システムをシームレスに接続し、トータルシステムとして構築しようとする動きがある。

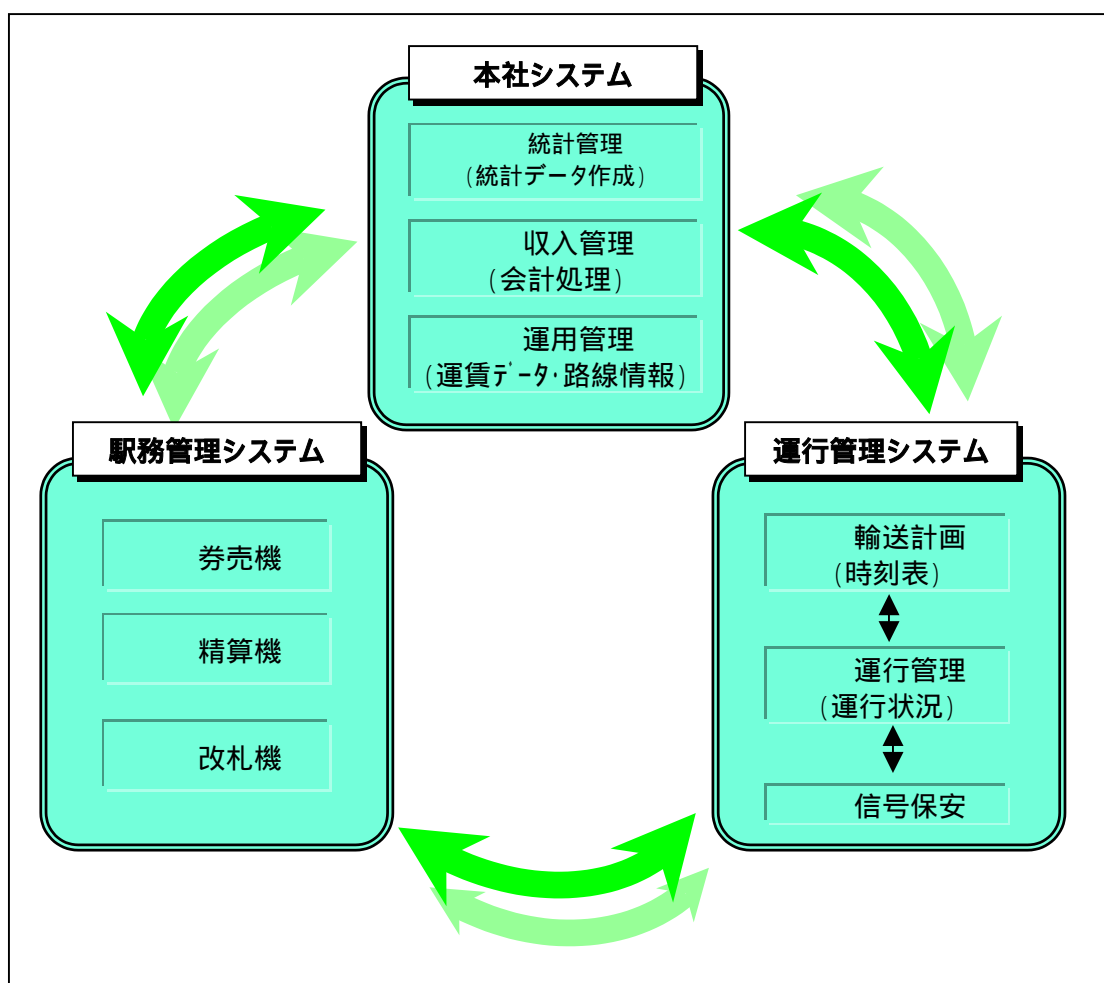


図 2 - 52 鉄道事業者における情報システムの構成イメージ

(2)利用者に提供している交通情報の種類と提供媒体

利用者に提供している情報の種類としては、時刻表、ダイヤ、路線図、運賃等であり、事業者は、交通機関利用にあたっての最低限必要な情報提供をしているとの認識を持っている。しかし乗り継ぎ・乗り換え情報や、他社との連携が必要な情報については情報が十分ではないとの回答であった。また、座席予約情報、路線周辺情報では、情報提供が十分ではないとの回答が多かった。

情報提供手段は、従来の紙によるものが中心だが、ホームページの対応も進んでいる。携帯端末（モバイルPC、携帯電話、PDA等）を利用した情報提供も一部の事業者で見られる。

（注：「PDA」は Personal Digital Assistant の略。手のひらサイズの電子機器で、パソコンの機能のうちいくつかを実装したものをいう。液晶表示装置や外部との接続端子を搭載し、電池や専用バッテリーで駆動する。）

(3)現在提供はしていないが、利用者が望んでいる交通機関情報

バス事業者は、バス位置情報提供、予約状況提供、停留所での次バス接近情報等については、利用者のニーズを満たしていないと感じている。

ホームページ上での提供情報の充実や、携帯端末への情報提供を行うなど、利用者が情報を入手する窓口の拡大を図ろうとする事業者が多くなっている。

(4)他社との連携による情報提供

放送メディアや「駅すばあと」等の交通事業者以外によるサービスへの協力は、積極的に行うというより、要請に応じるといったスタンスの事業者が多い。従って、交通事業者から情報提供者に渡される情報の形式や条件も事業者と提供業者との話し合いによって個別に決められているのが現状である。

旅行代理店等の観光関連事業者との間で、共同のチラシを制作したり、ホームページにリンクを張ったりしているケースも見られる。

(5)その他

バス事業者は、バスが道路を運行しているため、渋滞等の要因により正確な所要時間の提供は困難であると感じている。また道路工事やダイヤ改正、路線変更等が頻繁にあり、提供している交通情報のメンテナンスが困難であることを訴えるところも多かった。

事業者の中には、情報の制作・加工を業者に依頼（アウトソーシング）しているところもある。

第3章 交通事業者以外による情報提供の現状

1) ポータルサイトによる情報提供

近年、インターネット利用者が最初にアクセスする情報提供サイト（以下、ポータルサイト）で交通情報を提供するケースが増加してきている。

ポータルサイトで提供される交通情報は、各種のサービスメニューの一部として掲載されているものであり、アクセス方法や見せ方にも各種の工夫が見られる。それらの運用主体は、交通事業者以外の業者であることが多く、その他のメニューの豊富さからも、アクセスの件数は相当量にのぼっている。

本調査においては、交通事業者以外の業者が運営する人気ポータルサイトの内、交通情報をメニューに掲げているポータルサイトのサービス内容、カバーする交通情報の地域、アドレス（URL）、アクセス件数等の調査を実施した。更に自治体が運営主体となっているポータルサイト（ホームページ）も調査した。

A. 民営ポータルサイト

インターネットでよく利用される人気ポータルサイトで、更に交通情報を提供しているところは表 3-1 の通りとなる。出典は 'Yahoo! Internet Guide' で、アクセス数の多い上位 10 件を抽出した。表に記されたアクセス数は、電話ヒアリングで知り得た数値で、対応した担当者から聞き取った口称数値である。

「駅前探検倶楽部」は交通情報を入手するポータルサイトのデファクト・スタンダード的存在となっており、一日にパソコン版で 150 万件、携帯電話等を利用したモバイル端末版で 50 万件のアクセスがある。

提供される交通情報は、鉄道関連が主で、近年バスに関する情報提供も大都市圏で始まりつつある。航空、船舶、高速・長距離バスに関しても、空席情報を伴って情報提供されているものもある。提供情報の種類としては、路線、乗り換え案内、運賃、所要時間等があり、ビジネスマンや学生等に対する生活路線としての情報と、旅行者・出張者を対象とした観光案内、宿泊案内、予約状況を含めた情報も多い。路線はポータルサイトによってかなり精緻な地図をバックに地理情報システム（GIS）を利用した

ものから、簡略化(デフォルメ)した図で表したものまで多種多様である。

これらのポータルサイトがカバーしている地域は首都圏、大都市圏をほぼ網羅しているが、一般的な傾向としては、首都圏にて試験的に実施し、順次(1~2年後)地方都市に拡大させて行く方法がとられている。交通機関の種類も鉄道から始まりバス、航空、船舶の順で実施されている。航空に関しては、鉄道、バスほどに選択肢が多くないためか、直接キャリア会社(航空事業者)のホームページ等へアクセスし、予約までを行う利用形態の方が多いと思われる。

交通情報を利用する人の特性として、「現在交通機関を利用しようとしている」すなわち外出先、屋外移動中のケースも多く、その状況下で容易に、タイムリーに情報を得られることを望む利用者が多い。そのための手段として、携帯電話にてインターネットに接続し、情報を得る技術が進んできている。表に示す通り、人気サイトの半数が既に携帯電話対応を済ませている。

表3 - 1 民営の交通情報提供ポータルサイト一覧

| 人気投票順位 | サイト名 | サービス内容 | 携帯対応 | 管理会社/連絡先 | アクセス数 |
|--------|--------------|---|----------------|--|-------------------------------------|
| 1 | 駅前探検倶楽部 | 乗り換え案内 終電案内 駅の時刻表 出張案内 他、駅前情報・JR運行情報 | ○ | (株)東芝 03-3457-3815 | PC版:150万pv/日 モバイル版:50万pv/日 |
| 2 | Yahoo! 路線情報 | 経路情報 運賃リスト(定期リスト) 出口情報 駅周辺地図情報 | × | ヤフー(株) pr@mail.yahoo.co.jp * E-mailのみ問合せ受け付け | 非公表 |
| 3 | ISIZE TRAVEL | 国内外旅行予約及びガイド 天気予報 乗り換え案内 首都圏路線図 地図案内 | × | (株)リクルート イサイズトラベル | 非公表 |
| 4 | Mapion | 地図情報 路線図 PHS位置情報 駐車場案内 首都高出入口案内 | ○ | (株)サイバースマップ・ジャパン 03-5275-2158 | 200万pv/日 (2001年2月現在) |
| 5 | タウンページ | 店舗情報提供 駅前情報提供 路線経路案内 フリーダイヤル検索 グルメ・宿泊検索 | × | NTT番号情報(株) E-mail:webmaster@mail.itp.ne.jp | 2400万pv/月 (2000年6月末現在) * HPより |
| 6 | えきから時刻表 | 路線図 駅時刻表 列車別時刻表 交通機関別(バス・船舶・航空)交通情報 | × (予定あり検討中) | (株)エヌケーピー 03-3215-8866 | 600万pv/月 50万pv/日平均 |
| 7 | MapFan Web | 地図検索 (ジャンル別地図検索) クーポンサービス 懸賞情報 天気予報 | ○ | インクリメントP(株) 03-3491-6171 webmaster@incrementp.co.jp * E-mailのみ問合せ受け付け | 200万pv/日 |
| 8 | ジョルダン乗換案内 | 乗換案内(マップ・駅名検索) 終電情報 他交通機関情報 | ○ | ジョルダン(株) 03-3361-1541 | 100万pv/日 |
| 9 | JH日本道路公団 | 道路交通情報 ハイウェイナビゲータ (高速経路・料金案内) 観光地ナビゲーター ドライバー情報 | ○ | (財)日本道路交通情報センター 03-3264-0241 | 7万pv/日 |
| 10 | 国内線いっばつ空席照会 | 航空券運賃照会 空席状況照会 出発地付近ホテル検索 到着地付近ホテル検索 他交通機関情報検索サイト リンク集 | × | Shinji Inoh E-mail:ino-@ijk.com | 1991373 (2001.2.9現在) * HPより |

1 表中の「pv」とはインターネット利用者の該当ホームページ閲覧回数を指す。

出典：[Yahoo!Internet Guide:<http://www.zdnet.co.jp/internet/guide/year/2000/>]

B . 自治体ポータルサイト

自治体では、地域情報化や電子自治体対策の一環として、地域住民等への情報提供を、ITを活用して実施するところが増えている。現在のホームページを開設している自治体数は2,672に及び、全自治体の79.6%に至っている。(自治大臣官房情報政策室・地方公共団体における地域情報化施策の概要・平成12年3月版による)

これら自治体のホームページでは、関係各課が、提供する情報のコンテンツを制作し掲載している。中には広報課や情報管理課等が各課から情報を収集し、一括してコンテンツを制作している自治体もある。従って、当該自治体が公営の鉄道、バス、船舶等の運行管理をしている場合は、ホームページ上になんらかの交通情報を提供している状況にある。また、公営の交通機関を保有しない自治体においても、地域情報化施策として、地域住民への暮らしの情報提供サービスとして、当該自治体内で運行している交通機関の情報を提供しているところもある。本調査においては、政令指定都市と中核市(全国27市中、人口の多い上位10都市を抽出)における自治体ポータルサイト上での交通情報の提供実態を調査した。(表3-2、表3-3参照)

表 3 - 2 政令指定都市の交通情報提供ホームページ一覧

| 都市名 | サイト担当部署 | 交通情報内容 | URL |
|---------|--------------------------|---|---|
| 1 札幌市 | 建設局 | 道路交通情報 ドライブ情報 | http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/stn/index2.html |
| | 交通局 | 地下鉄区間料金案内 | http://www.city.sapporo.jp/st/index.html |
| 2 仙台市 | 建設局 | 道路情報 駐車場情報 公共交通情報 | http://www.i-road.gr.jp/ |
| | 交通局 | 市バス路線/料金案内 地下鉄料金/区間所要時間案内 | http://www.comminet.or.jp/%7Ekotsu-s/ |
| 3 千葉市 | 観光コンベンション課 | 「乗り物」紹介コーナーで各交通事業者HPにリンク | http://www.infochiba.ne.jp/ |
| 4 横浜市 | 交通局 | 地下鉄運賃/時刻表 市営バス運賃/時刻表/路線マップ 割引きっぷ情報 | http://www.city.yokohama.jp/me/koutuu/jpn/contents.html |
| | 道路局 | 市営地下駐車場マップ | http://www.city.yokohama.jp/me/douro/index.html |
| 5 川崎市 | 市民局 交通安全対策課 建設局街路課 | 川崎駅周辺駐車場マップ | http://www.city.kawasaki.jp/25/25anzen/home/tyusya.htm |
| | 交通局 | バス時刻表/路線図/料金表 東京アクアライン高速バス料金/時刻表 | http://www.city.kawasaki.jp/82/82syomu/home/kotumenu.htm |
| 6 名古屋市 | 交通局 | 市バス路線/時刻表/のりば案内 地下鉄路線/時刻表(始・終発案内有)/料金検索 | http://www.kotsu.city.nagoya.jp/ |
| | | 道路工事情報 | http://www.city.nagoya.jp/ |
| 7 京都市 | 交通局 | 定期観光バス案内/予約 市バスダイヤ検索/運賃 地下鉄ダイヤ/運賃 | http://www.city.kyoto.jp/kotsu/index.html |
| 8 大阪市 | 交通局 | 地下鉄/バス路線図 時刻表検索 最短経路検索 地下鉄始発時刻表 主要バスターミナル一覧 定期観光バス案内 | http://www.kotsu.city.osaka.jp/ |
| | | 市営駐車場マップ | http://www.road.osaka-city.or.jp/orc/park.html |
| 9 神戸市 | 交通局 | 市バス/地下鉄時刻表 市バス/地下鉄料金表 市バス料金/系統一覧表 地下鉄路線図/沿線ガイド | http://www.city.kobe.jp/cityoffice/54/index.htm |
| | 建設局 | 公共駐車場の場所と利用料金案内 | http://www.city.kobe.jp/cityoffice/30/011/index.htm#5 |
| 10 広島市 | 経済局 | 市への鉄道、バス、船舶、航空でのアクセス情報 | http://www.tourism.city.hiroshima.jp/level3/f03.html |
| 11 福岡市 | 交通局 | 地下鉄運賃/時刻表/駅周辺マップ/路線図 | http://subway.city.fukuoka.jp/annai/index.html |
| | 港湾局 | 定期船スケジュール/料金/施設案内 | http://www.port-of-hakata.or.jp/main.htm |
| 12 北九州市 | 交通局 | バス路線図/時刻表/運賃/運行状況/乗り場案内 | http://www.city.kitakyushu.jp/k7001010/ |

表3 - 3 中核市の交通情報提供ホームページ一覧

| | 都市名 | サイト担当部署 | 交通情報内容 | URL |
|----|------|-------------------|---|--|
| 1 | 新潟市 | 観光物産課 | 新潟市へのアクセス方法 | http://www.city.niigata.niigata.jp/ |
| 2 | 金沢市 | 交通政策課 | 市営バス時刻表/ルート図 | http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/koutsuu/taisaku/kassei/combus/flatbus/flat.htm |
| | | 経済部 観光課 | 金沢市へのアクセス方法 バス路線図、運賃等 | http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kankou/koutu/koutuJ.html |
| 3 | 静岡市 | 総務部 広報課 | 静岡市へのアクセス方法 | |
| 4 | 浜松市 | 観光コンベンション課 | 浜松市・周辺エリアへのアクセス方法 定期観光バス案内 浜名湖航路 遊覧船・定期船案内 | http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sight/index.htm http://kankou.pref.shizuoka.jp/search/koutsu/bus.html http://www2.tokai.or.jp/marine/whatsnews/kouro.htm http://kankou.pref.shizuoka.jp/search/koutsu/ship.html |
| 5 | 堺市 | 交流観光課 | 鉄道路線図 | http://www.city.sakai.osaka.jp/city/info/guidebook/sakai_map/rail_map.html |
| 6 | 岡山市 | 観光物産課 | 岡山市へのアクセス方法 | http://www.city.okayama.okayama.jp |
| 7 | 松山市 | 観光振興課 | 松山市へのアクセス方法(所要時間のみ) 鉄道路線図を含んだ地図 | http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/traffic/index.html |
| 8 | 姫路市 | 観光振興課 | 姫路市へのアクセス方法 | http://www.city.himeji.hyogo.jp/guide/access/index.html |
| 9 | 熊本市 | 観光物産課 観光情報センター | 熊本市へのアクセス方法 主要施設へのアクセス方法 鉄道/バス路線図を含んだ地図 | http://www1.city.kumamoto.kumamoto.jp/kanko/access/rail.html |
| 10 | 鹿児島市 | 交通局 | 路面電車路線図/運行時間/時刻表 市営バス路線図/時刻表 市営電車・バス運賃 | http://www.city.kagoshima.kagoshima.jp/koutuu.nsf/ |

政令指定都市は全ての都市において市営の交通機関を保有・運営している。また全ての都市が独自のホームページを開設しており、その中に自営の交通機関の情報を載せている。

自治体ホームページで提供されている交通情報は、ほぼ自営の交通機関情報に限られている様子が見える。

提供している情報の種類は、路線（系統）、時刻表、運賃であり、他社路線も含めた乗り換え、乗り継ぎ案内まで実施しているところは無い。経路探索、所要時間に関する情報も自営路線にほぼ限定されており、始点と終点の駅名を入力すると、その区間の料金や所要時間が表示されるものが多い。会話型での遣り取り（CGIやJava等の技術を使用して、利用者から入力される情報に基づいて、各種情報を取捨選択して表示するシステム）に対応しておらず、定型の路線、運賃、時刻表等の情報を、リクエストに応じて該当するものを抽出して表示するだけのものも多い。なお、これらの情報は、HTML形式またはPDF形式で制作されたものである。

一部の都市ではバスロケーション・システムを導入し、バス停で次バスの接近情報をLED（発光ダイオードを利用した電光掲示板）に表示するなどのサービスを行っているが、ホームページ上で情報を提供するサービスは実現していない。

しかし、リアルタイム情報に対する要望があることや市民サービスの向上という観点から、携帯電話等のモバイル端末を利用して、バスの接近情報を提供する自治体も出はじめている。アンケートにおいても「次バス接近情報」の提供手段として「ホームページ（モバイル向け）」のニーズが最も高い結果となっており、今後リアルタイム情報の提供が活発化する可能性もある。

中核市におけるポータルサイト（ホームページ）での交通情報提供の実態は、政令指定都市と近似しているが、交通機関の運営規模も、サイトの運営規模も小さくなっている様子が見える。また、自営の交通機関を保有しない都市においては、観光旅行者獲得を第一目的として、当該市へのアクセスのための路線、時刻表、運賃等を示したものが多く、地元住民の生活に密着した情報は少ない。

2) パッケージソフトによる情報提供

交通事業者以外による交通情報の提供手段として、パッケージソフトウェアによる情報提供が知られている。地図帳、冊子、チラシ等の紙媒体による検索に代わるものである。利用者はそのソフト（交通情報等のデータと、それを検索・シミュレーションするために作られたプログラム）を購入し、パソコン等にインストールして利用する。

本調査では、人気の高い商品を5製品抽出し、対象となる交通機関の種類、サービス（提供情報）内容、データ補充（バージョンアップ）費用等を調査した。（表3-4参照）

表3-4 交通情報検索パッケージソフト一覧

| No. | パッケージソフト | バージョンアップ料 | 検索対象 | サービス内容 (情報/機能) | 対応OS | モバイル対応 | 開発メーカー |
|-----|----------|--|---|---|--------------------------|--|--------------------|
| 1 | 駅すばあと | ・3,500円/回 ・5,000円/2回 ・10,000円/年 (偶数月にバージョンアップ版発売) | JR 私鉄 地下鉄 第3セクター 路面電車 バス 国内航空 | ダイヤ情報 路線情報 路線図 運賃情報 福祉設備情報 地下鉄出口情報 チケット予約情報 ランドマーク 音声対応 | Win 95/98/ 2000/Me | 探索結果と時刻表を IBM Work Padへ出 力可能 | 株式会社 ヴァル研究 所 |
| 2 | 乗換案内 | ・4,000円/回 ・10,000円/年 (年4~6回バージョン アップ) | JR 私鉄 地下鉄 第3セクター 路面電車 バス 国内航空 国際航空 | ダイヤ情報 路線情報 路線図 運賃情報 地下鉄出口情報 チケット予約情報 ランドマーク 音声対応 | Win 95/98/ 2000/Me/NT | WindowsCE版、 Zaurus版、Mac版、 Palm版を同梱 | ジョルダン 株式会社 |
| 3 | ハイパーダイヤ | ・10,000円/年 (3ヶ月ごとにバージョ ンアップになる) | JR 私鉄 地下鉄 第3セクター 路面電車 国内航空 | ダイヤ情報 路線情報 路線図 運賃情報 列車情報 音声対応 | Win 95/98/ 2000/Me/NT | WindowsCE版を同 梱 Palm版 | 株式会社 日立情報シ ステムズ |
| 4 | 時刻表ダイヤナビ | ・5,000円/回 ・15,000円/年 (3ヶ月ごとにバージョ ンアップになる) | JR 私鉄 地下鉄 第3セクター 路面電車 バス 国内航空 | ダイヤ情報 路線情報 路線図 運賃情報 列車情報 旅館、ホテル情報 駅構内案内情報 | Win 95/98/ 2000/NT | × | JTB(日本交通公社) |
| 5 | 調べ太郎 | ・3,980円/回(店 頭) ・3,000円/回(HP) ・9,000円/年 (3ヶ月ごとにバージョ ンアップになる) | JR 第3セクター(一 部) 私鉄(一部) | ダイヤ情報 駅構内案内情報 路線情報 路線図 列車情報 | Win 95/98/NT | WindowsCE版 | 株式会社 ヴィ・アイ・ ピー |

この5つのパッケージソフトは、JR、私鉄、地下鉄、第三セクター、路面電車、バス、国内航空を検索対象としている。「調べ太郎」は、やや対象が少なくなっており、「乗換案内」は国際航空も対象としている。

パッケージソフトの場合の大きな問題は、データの陳腐化であるが、各社とも3ヵ月毎のダイヤ改正に合わせてバージョンアップ版を提供している。費用は、年間1万円程度となっている。

「駅すばあと」、「乗換案内」は年6回バージョンアップを実施している。

各社のパッケージソフトは「時刻表ダイヤナビ」を除き、いずれもモバイルに対応している。交通情報の検索も携帯化の傾向が現れている。

3) 紙媒体による情報提供

紙媒体による交通情報の提供に関しては、定期的な出版されるものとそうでないものがあるが、ここでは交通情報が定期的に更新・提供されるものを対象とした。

定期的に交通情報を提供しているものの中で代表的なものは、「JTB時刻表」(JTB)と「JR時刻表」(弘済出版社)である。共に月刊誌で、どちらも主要な鉄道・バス・航空・船舶の時刻が網羅されており、加えて路線図や主要駅の見取り図、宿泊施設の案内等様々な情報が掲載され、情報量は豊富である。

弘済出版社では、その他にも中型版や小型版、地域版(首都圏、北海道、中部・北陸地方、西日本、中国地方、九州・中国地方)の時刻表や高速バスのみ限定した時刻表等を販売している。また、JTBでも小型版や大都市に絞った時刻表を出版している。

表3-5 紙媒体による交通情報の提供

| 情報名称 | 掲載交通情報の種類 | 発行団体名 | 発行サイクル |
|-----------|---|-------|-------------------|
| 「JR時刻表」 | 全国のJR線・第3セクター線/JR6社の主要ニュース/宿情報/JRの営業案内 | 弘済出版社 | 月刊 |
| 「コンバス時刻表」 | 全国のJR線/私鉄一部/ビジネスホテルガイド/主要駅の構内図 | | 月刊 |
| 「全国小型時刻表」 | 全国のJR線/私鉄一部/主要駅の構内図/おもな快速電車停車駅(東京・大阪地区) | | 月刊 |
| 「東京時刻表」 | 首都圏100キロ圏内/首都圏私鉄全駅・全時刻/ハイウェイバス・夜行高速バス/羽田・成田空港アクセスバス/航空ダイヤ/長距離フェリー・航路/首都圏発着便 | | 月刊 |
| 「のりべん時刻表」 | のりかえ時間早見表/ターミナル駅マップ/道くサインフォメーション/駅発時刻表 | | 季刊(3、6、9、12月の年4回) |
| 「高速バス時刻表」 | 時刻・運賃・乗降場案内/全国各地の「高速バス」路線 | | 季刊(4、10月の年2回) |
| 「道内時刻表」 | 北海道内のJR全線全駅全列車時刻表/主要バス路線時刻表 | | 月刊 |
| 「中部編時刻表」 | 中部・北陸のJR線/東海道・山陽・上越・長野新幹線 | | 季刊(3、6、9、12月の年4回) |
| 「携帯全国時刻表」 | 西日本中心/航空はヘリコプター航路を除いた国内線の全便/私鉄・バス(関西・西日本を中心) | | 月刊 |
| 「ポケット時刻表」 | 中国地方の全線全駅と鹿児島本線、日豊本線、高速バス等 | | 年4回 |
| 「小型時刻表」 | 九州・中国・四国地域のJR線/私鉄/バス/航空/航路 | | 月刊 |
| 「JTB時刻表」 | JR全列車、主要私鉄、バス、国内・国際航空路、航路の運行時刻/JR全線全駅/各地の割引切符や周遊券/1万軒の宿泊案内 | | JTB |
| 「携帯時刻表」 | JR全列車、私鉄特急、国内航空線、高速バスをピックアップした全国総合版 | 月刊 | |
| 「スピード時刻表」 | 新幹線、特急、急行、JR大都市近郊区間の時刻表 | 月刊 | |

その他の出版物では、関東版と近畿版が年2回ずつ出版される「登山・ハイキング バス時刻表」(成星出版)や年1回出版される「首都圏のりもの情報 早わかりマップ&時刻表」(ぱる出版)等がある。前者はタイトルの通り、登山・ハイキングスポットを中心としたバスの時刻表等が掲載されている。後者は鉄道や長距離バスに関する情報を中心に駅周辺の地図等の情報も掲載されている。

4) 放送媒体による情報提供

テレビを通じた交通情報の提供について、テレビ放送事業者に対し、電話によるヒアリング調査を実施した。事業者の選定にあたっては、全国各地に放送拠点を持つ NHK を選定し、政令指定都市 12 都市と、中核市 27 市の内人口の多い上位 10 都市、合計 22 ヶ所の最寄りの放送局から意見を収集した。

交通情報として放送される内容の中としては、渋滞等の道路状況に関するものが多いが、鉄道・バス・航空・船舶等の運行状況の定期的な放送については、22 局中 16 局が実施しているとの回答があった。その他の 6 局では、事故や悪天候等の特別な状況による運休や遅延が無い限り、放送は行っていないとのことであった。6 放送局の内訳は、政令指定都市の 2 局と中核市の 4 局である。

放送する番組名及び、放送時間帯は、定期的な放送を行っている 16 局が、仙台・新潟を除いた 14 局で、平日の午前 5 時から午前 8 時 15 分にかけて放送している「おはよう日本」の中の地域版ニュースとして提供している。この地域版のコーナーは、各地域に密着した情報を放送する時間枠として設定しており、番組中 3 回分の枠を設けている。更に、夕方から夜間にかけて放送時間帯では、新潟の「新潟発ふれっしゅ便」や金沢の「いしかわ 600」の中で交通情報を放送している。

NHK で放送している交通情報の内容を交通機関別に見ると、鉄道の情報が最も多く 16 局、次いで航空の情報が 10 局、船舶情報は 7 局、バスについては新潟放送局の 1 局のみとなっている。

ただし、全ての交通機関の情報を網羅して提供している放送局はなく、いくつかの交通機関情報を組み合わせて放送している。最も多い組み合わせは、鉄道・航空・船舶である。

表 3 - 6 各番組中の地域版の時間帯

| 番組名 | 地域版の時間帯 |
|--------|-----------------------|
| おはよう日本 | 6:25 ~ 6:30 (5 分間) |
| | 6:50 ~ 6:57 (7 分間) |
| | 7:30 ~ 7:45 (15 分間) |
| 地域限定番組 | 18:00 ~ 19:00 |
| 地域限定番組 | 18:00 ~ 19:00 |

表 3 - 7 政令指定都市交通情報提供テレビ局一覧

| | 都市名 | 局名 | 番組名 | 時間帯 | 情報種類 |
|----|------|--------|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| 1 | 札幌市 | 札幌放送局 | おはよう日本 | 6:50 ~ 6:57 | 鉄道/船舶/航空の運航状況 |
| 2 | 仙台市 | 仙台放送局 | ウィークエンド東北 | 7:30 ~ 8:15(この間に数分) | 鉄道/船舶/航空の運航状況 |
| 3 | 千葉市 | 千葉放送局 | おはよう日本 | 6:25 ~ 7:30 ~ | JRの運行状況/道路情報 |
| 4 | 横浜市 | 横浜放送局 | おはよう日本 | 3. | 3. |
| 5 | 川崎市 | 横浜放送局 | おはよう日本 | 3. | 3. |
| 6 | 名古屋市 | 名古屋放送局 | おはよう日本 | 7:30 ~ | モノレール以外の鉄道/航空の運行状況 |
| 7 | 京都市 | 京都放送局 | 2.おはよう日本 | 7:30 ~ | モノレール以外の鉄道/航空/高速艇の運行状況 |
| 8 | 大阪市 | 大阪放送局 | 2.おはよう日本 | 7:30 ~ | モノレール以外の鉄道/航空/高速艇の運行状況 |
| 9 | 神戸市 | 神戸放送局 | 2.おはよう日本 | 7:30 ~ | モノレール以外の鉄道/航空/高速艇の運行状況 |
| 10 | 広島市 | 広島放送局 | おはよう日本 | 6:50 ~ (数分)、 7:30 ~ (数分) | JRの運行状況/航空の空席情報及び運行状況、道路情報 |
| 11 | 福岡市 | 福岡放送局 | 1. | 1. | 1. |
| 12 | 北九州市 | 北九州放送局 | 1. | 1. | 1. |

1. 福岡、北九州及び岡山、松山、熊本、鹿児島各放送局では、特別なこと（事故、暴風雨雪等）による運休、遅延が無い限り運行状況は提供していない。
2. 大阪、京都、神戸各放送局は大阪放送局で制作された「おはよう日本」の地域版を放送しているため、内容は同じである。
3. 首都圏各放送局は首都圏センターで製作された「おはよう日本」の地域版を放送しているため、内容は同じである。
4. 「おはよう日本」では、番組中 6:25 ~ 6:30、6:50 ~ 6:57、7:30 ~ 7:45 の時間帯に東京からのニュースに代わり、各地方放送局から地域に密着した情報を提供している。

表3 - 8 中核市交通情報提供テレビ局一覧

| | 都市名 | 局名 | 番組名 | 時間帯 | 情報種類 |
|----|------|--------|-------------------|-------------------------|---|
| 1 | 新潟市 | 新潟放送局 | 新潟発ふれっしゅ便 | 18:00～19:00(この間に数分)(平日) | バス/鉄道などの運行状況 |
| 2 | 金沢市 | 金沢放送局 | おはよう日本 いしかわ600 | 7:30～ 18:00～19:00 | おはよう日本は航空の空席情報のみ いしかわ600は加えて、特急車の空席情報も |
| 3 | 静岡市 | 静岡放送局 | おはよう日本 | 7:30～ | JRの運行状況/道路情報など |
| 4 | 浜松市 | 静岡放送局 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 5 | 堺市 | 大阪放送局 | おはよう日本 | 2 | 2 |
| 6 | 岡山市 | 岡山放送局 | 1 | 1 | 1 |
| 7 | 松山市 | 松山放送局 | 1 | 1 | 1 |
| 8 | 姫路市 | 神戸放送局 | おはよう日本 | 2 | 2 |
| 9 | 熊本市 | 熊本放送局 | 1 | 1 | 1 |
| 10 | 鹿児島市 | 鹿児島放送局 | 1 | 1 | 1 |

1. 福岡、北九州及び岡山、松山、熊本、鹿児島各放送局では、特別なこと(事故、暴風雨雪等)による運休、遅延が無い限り運行状況は提供していない。
2. 大阪、京都、神戸各放送局は大阪放送局で制作された「おはよう日本」の地域版を放送しているため、内容は同じである。
3. 「おはよう日本」では、番組中 6:25～6:30、6:50～6:57、7:30～7:45の時間帯に東京からのニュースに代わり、各地方放送局から地域に密着した情報を提供している。